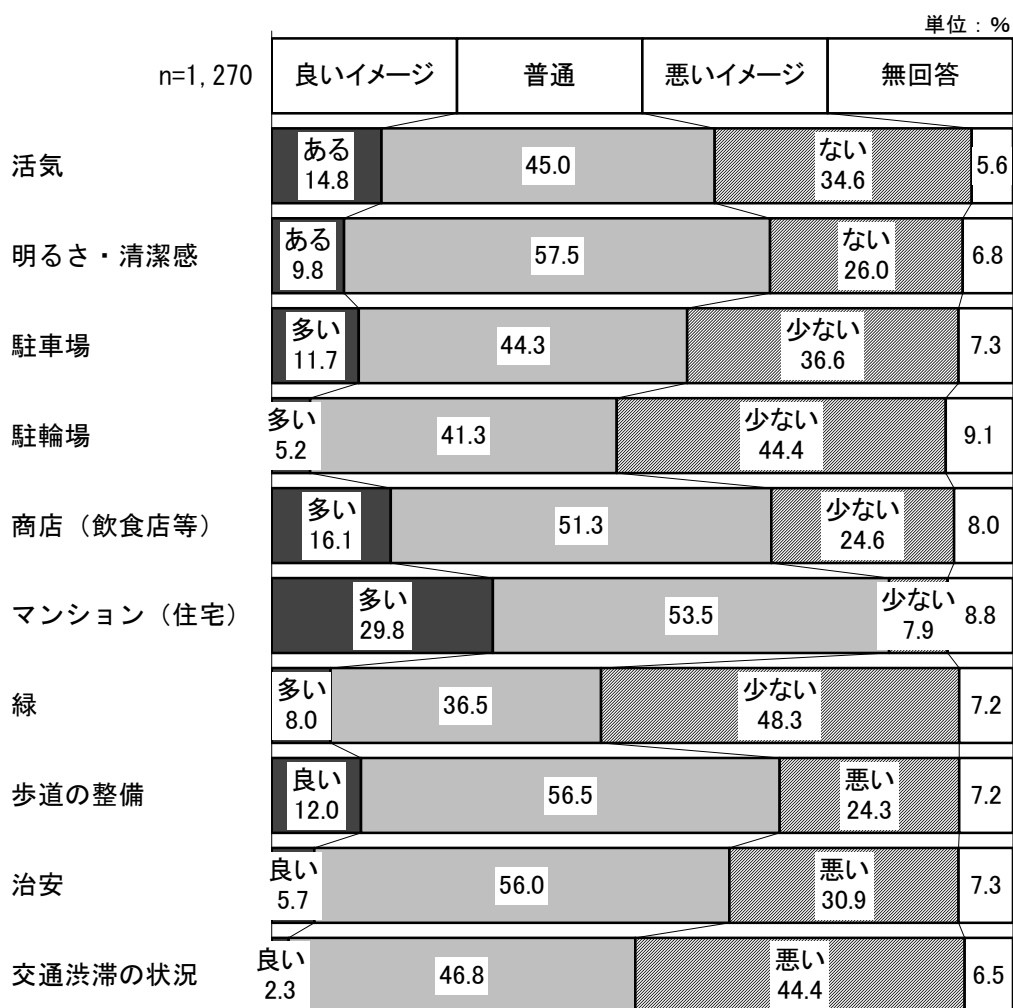


14 まちづくり

(1) 本厚木駅周辺のイメージ（A：問 29）

問. 現在の本厚木駅周辺（中心市街地）のイメージについて、どう思いますか。（それぞれ①～③の中から該当するものを選び○で囲んでください。）

図 14-1-1 本厚木駅周辺のイメージ



【全体】

現在の本厚木駅周辺（中心市街地）のイメージについて、10 の項目ごとに聴いたところ、良いイメージが高いのは「マンション（住宅）」（29.8%）となっている。

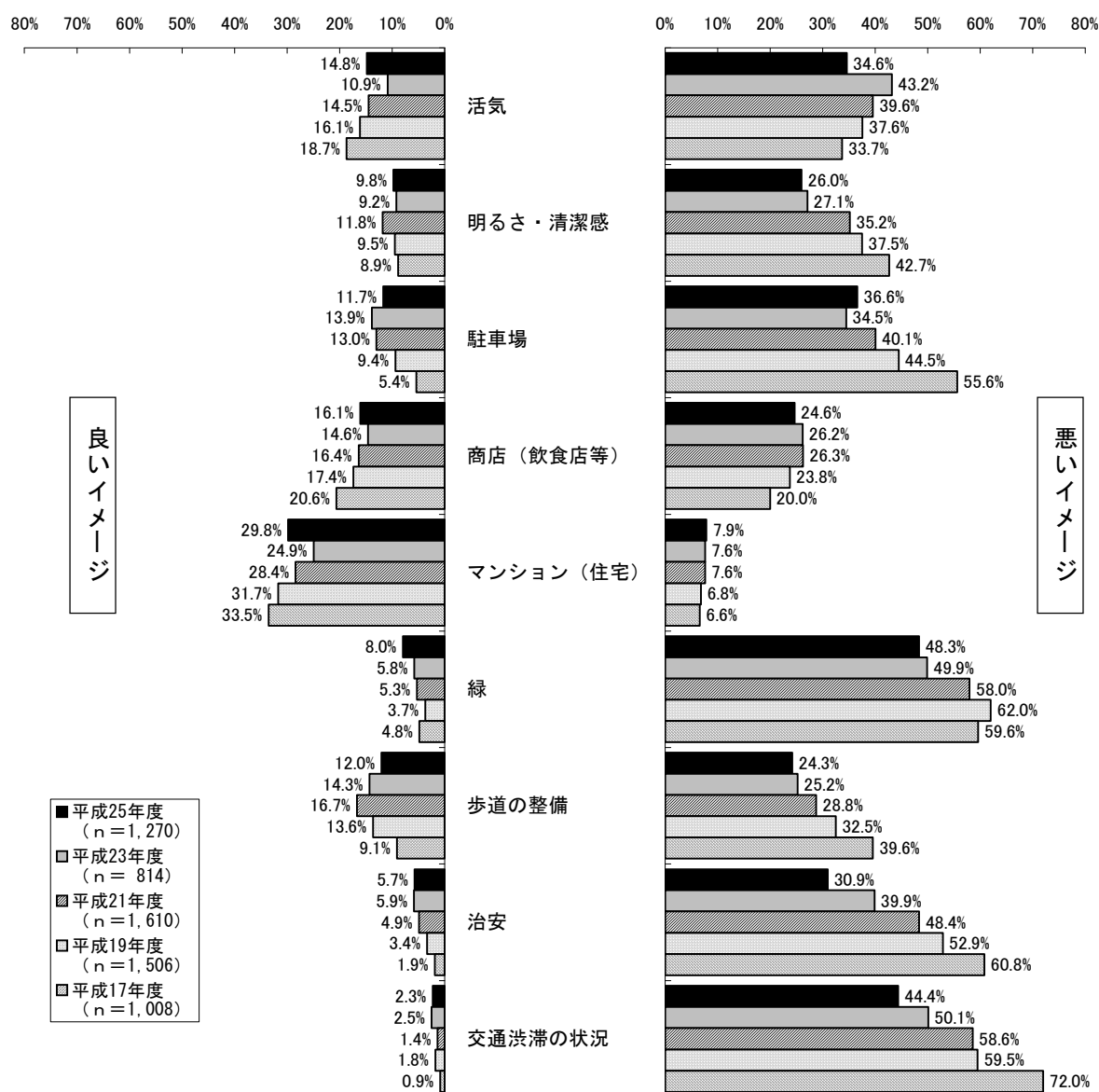
悪いイメージが最も高いのは「緑」（48.3%）、次いで、「駐輪場」・「交通渋滞の状況」（ともに44.4%）となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、『良いイメージ』では、「活気」、「明るさ・清潔感」、「マンション（住宅）」「緑」が、増加傾向となっている。

一方、「活気」、「明るさ・清潔感」、「歩道の整備」、「治安」、「交通渋滞の状況」は、『悪いイメージ』が減少傾向にある。

図 14-1-2 本厚木駅周辺のイメージ経年変化

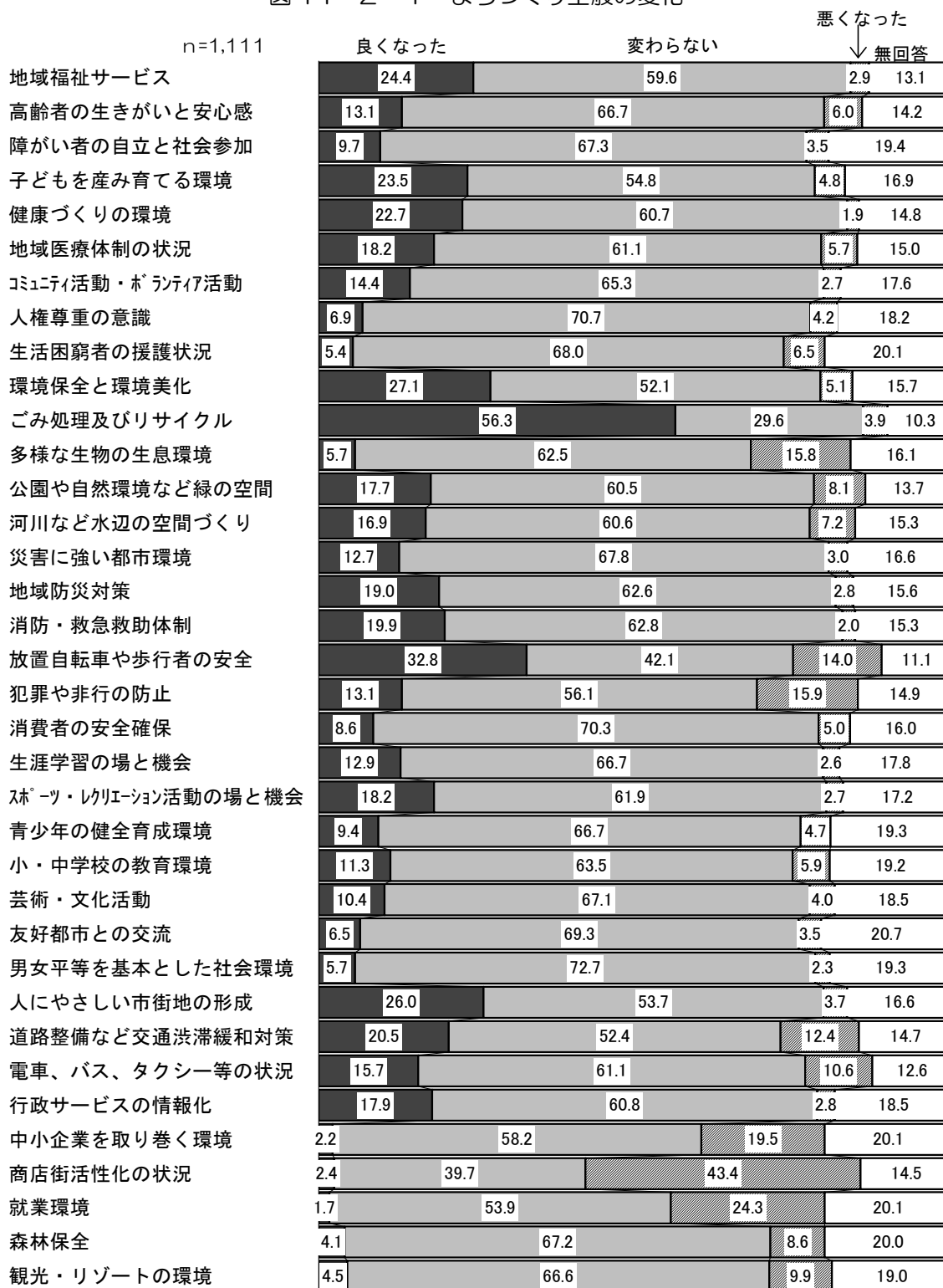


（注）「駐輪場」については、今回の調査から追加した項目のため、掲載していない。

(2) まちづくり全般の変化（A：問 30）

問. まちづくり全般の変化について、どう思いますか。（それぞれ①～③の中から該当するものを選び○印を記入してください。）（厚木市に転入されて5年未満の方は、問31へお進みください。）

図 14-2-1 まちづくり全般の変化



単位：％

【全体】

5年前と比べて、まちづくりがどのように変化したと思うか聞いたところ、「良くなった」との回答が全体で最も高かった項目は、『ごみ処理及びリサイクル』（56.3%）で半数を超えている。他に「良くなった」との回答が高い項目は『放置自転車や歩行者の安全』（32.8%）、『環境保全と環境美化』（27.1%）、『人にやさしい市街地の形成』（26.0%）と続いている。

「悪くなった」との回答が全体で最も高かった項目は、『商店街活性化の状況』（43.4%）で4割を超えている。他に「悪くなった」との回答が高い項目は『就業環境』（24.3%）、『中小企業を取り巻く環境』（19.5%）、『犯罪や非行の防止』（15.9%）、『多様な生物の生息環境』（15.8%）と続いている。

「変わらない」との回答は、『ごみ処理及びリサイクル』（29.6%）、『商店街活性化の状況』（39.7%）を除いた 34 項目で高くなっており、中でも、『男女平等を基本とした社会環境』（72.7%）、『人権尊重の意識』（70.7%）『消費者の安全確保』（70.3%）の3項目で7割以上と、特に高くなっている。

表 14-2-1 まちづくり全般の変化－上位5項目

順位	良くなった		変わらない		悪くなった	
1	ごみ処理及びリサイクル	56.3	男女平等を基本とした社会環境	72.7	商店街活性化の状況	43.4
2	放置自転車や歩行者の安全	32.8	人権尊重の意識	70.7	就業環境	24.3
3	環境保全と環境美化	27.1	消費者の安全確保	70.3	中小企業を取り巻く環境	19.5
4	人にやさしい市街地の形成	26.0	友好都市との交流	69.3	犯罪や非行の防止	15.9
5	地域福祉サービス	24.4	生活困窮者の援護状況	68.0	多様な生物の生息環境	15.8

（単位：％）

【経年変化】（次ページに表あり）

経年による変化を見ると、良くなったものでは、「ごみ処理及びリサイクル」が全5回の調査でいずれも1位となっている。その他、全5回の調査で上位5位以内の項目としては「人にやさしい市街地の形成」があり、直近4回の調査では「環境保全と環境美化」が5位以内に入っている。

悪くなったものとしては「商店街活性化の状況」が直近4回で全て1位となっており、4割台で推移している。その他、全5回の調査で上位5位以内の項目としては「犯罪や非行の防止」が入っているが、平成17年度調査と比較すると、今回の結果（15.8%）は38.4ポイントと大幅に減少している。また、直近3回の調査では、2位に「就業環境」、3位に「中小企業を取り巻く環境」、4位に「犯罪や非行の防止」、5位に「多様な生物の生息環境」と続いている。

表 14-2-2 まちづくり全般の変化－経年変化／よくなったもの

順位	平成 25 年度 (n=1, 111)		平成 23 年度 (n=699)		平成 21 年度 (n=1, 610)		平成 19 年度 (n=1, 506)		平成 17 年度 (n=1, 008)	
1	ごみ処理及びリサイクル	56.3	ごみ処理及びリサイクル	67.5	ごみ処理及びリサイクル	51.5	ごみ処理及びリサイクル	46.7	ごみ処理及びリサイクル	53.1
2	放置自転車や歩行者の安全	32.8	環境保全と環境美化	34.8	人にやさしい市街地の形成（バリアフリー等）	33.3	人にやさしい市街地の形成（バリアフリー等）	31.3	地域福祉サービス	27.6
3	環境保全と環境美化	27.1	放置自転車や歩行者の安全	32.6	環境保全と環境美化	31.2	放置自転車や歩行者の安全	28.8	消防・救急救助体制	27.0
4	人にやさしい市街地の形成	26.0	人にやさしい市街地の形成（バリアフリー等）	30.6	放置自転車や歩行者の安全	29.6	環境保全と環境美化	25.6	人にやさしい市街地の形成（バリアフリー等）	26.5
5	地域福祉サービス	24.4	子どもを産み育てる環境	28.0	公園や自然環境など緑の空間	27.5	公園や自然環境など緑の空間	24.8	地域防災対策	24.0

(単位：%)

表 14-2-3 まちづくり全般の変化－経年変化／悪くなったもの

順位	平成 25 年度 (n=1, 111)		平成 23 年度 (n=699)		平成 21 年度 (n=1, 610)		平成 19 年度 (n=1, 506)		平成 17 年度 (n=1, 008)	
1	商店街活性化の状況	43.4	商店街活性化の状況	48.8	商店街活性化の状況	43.3	商店街活性化の状況	44.2	犯罪や非行の防止	54.2
2	就業環境	24.3	就業環境	37.9	就業環境	36.8	犯罪や非行の防止	36.4	商店街活性化の状況	48.0
3	中小企業を取り巻く環境	19.5	中小企業を取り巻く環境	28.3	中小企業を取り巻く環境	27.5	地域医療体制の状況／多様な生物の生息環境（同率）	26.2	放置自転車や歩行者の安全	33.3
4	犯罪や非行の防止	15.9	犯罪や非行の防止	21.2	犯罪や非行の防止	27.2			道路整備など交通渋滞緩和対策	32.9
5	多様な生物の生息環境	15.8	多様な生物の生息環境	17.0	多様な生物の生息環境	22.8	子どもを産み育てる環境	25.5	就業環境	29.7

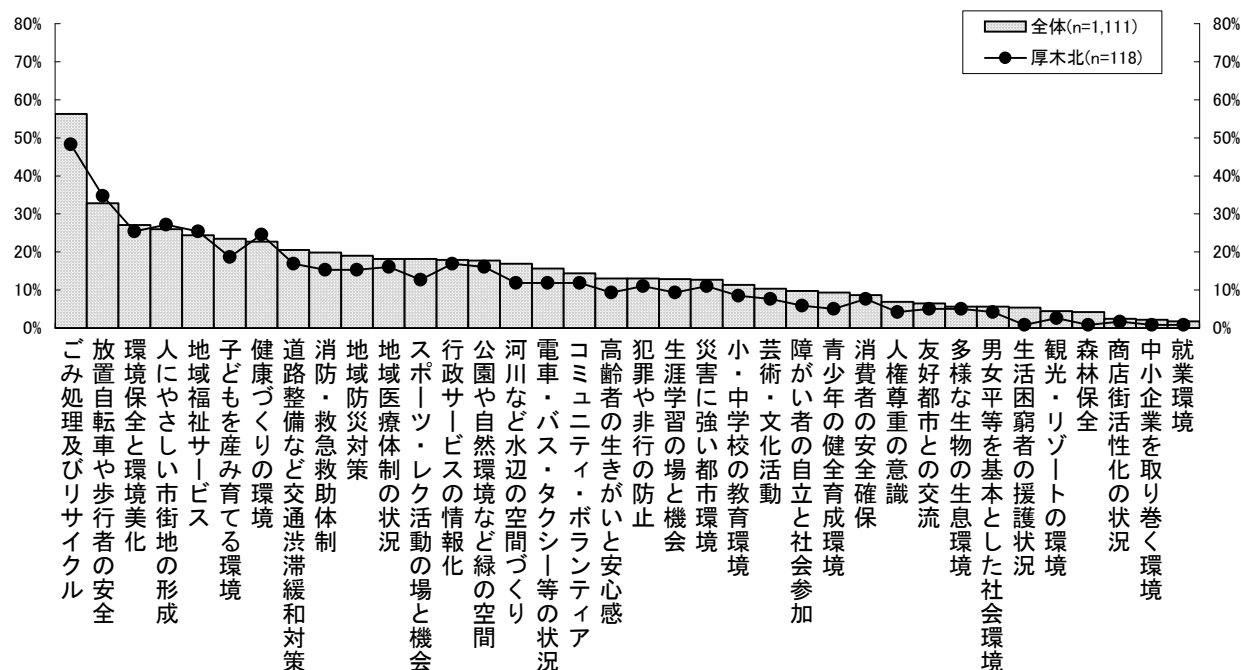
(単位：%)

【地区ごとの傾向】

〔厚木北地区〕

「良くなったもの」では、全体と比べて、「放置自転車や歩行者の安全」、「健康づくりの環境」が高くなっている。一方、「ごみ処理及びリサイクル」が特に低くなっている。

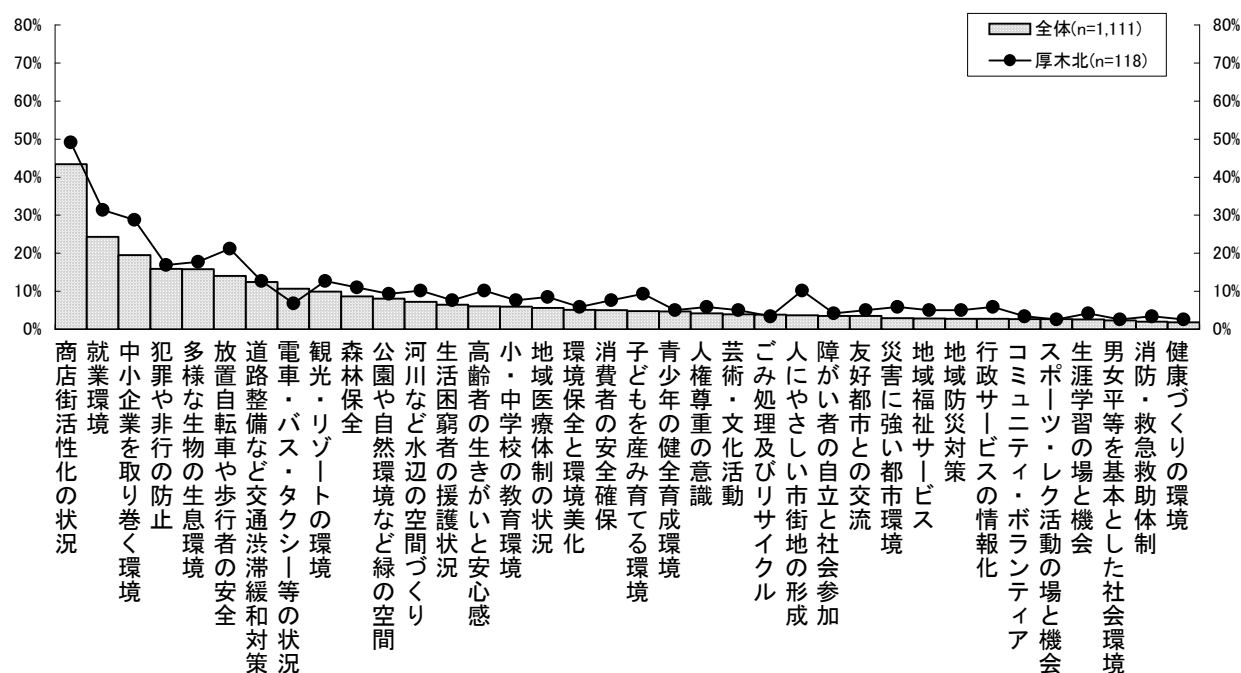
図14-2-2 まちづくり全般の変化－厚木北地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「放置自転車や歩行者の安全」、「就業環境」、「人にやさしい市街地の形成」、「商店街活性化の状況」が高くなっている。

一方、「電車、バス、タクシー等の状況」、「ごみ処理及びリサイクル」、「スポーツ・レク活動の場と機会」が低くなっている。

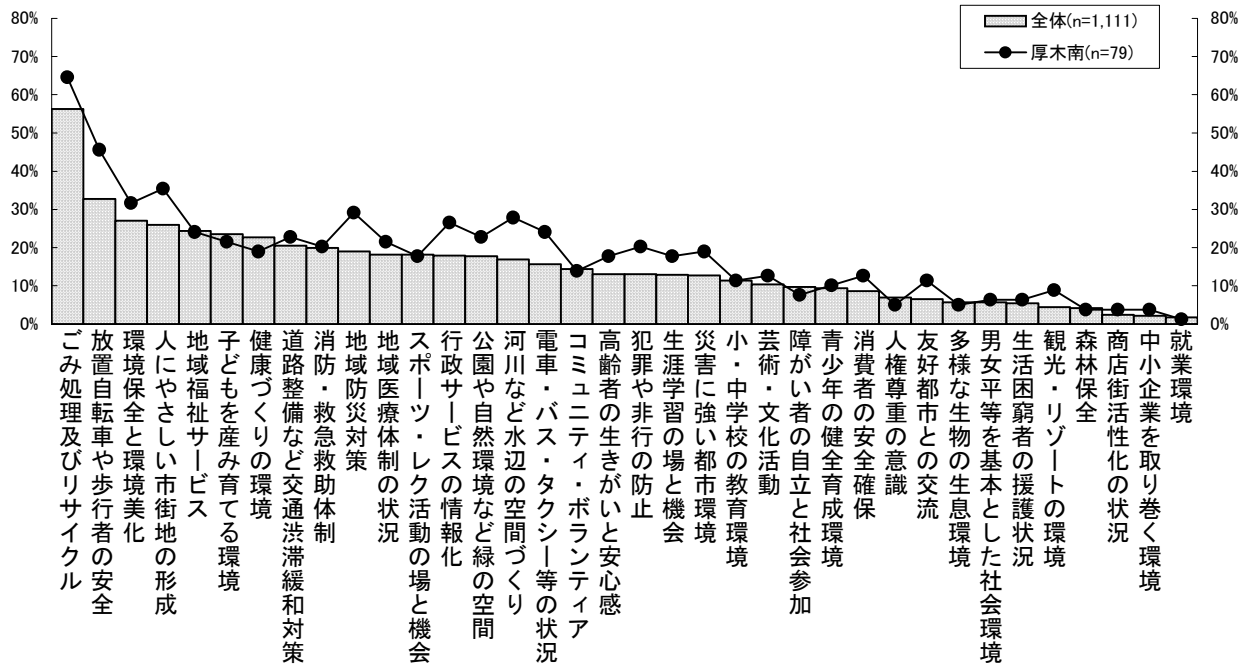
図14-2-3 まちづくり全般の変化－厚木北地区（悪くなったもの）



〔厚木南地区〕

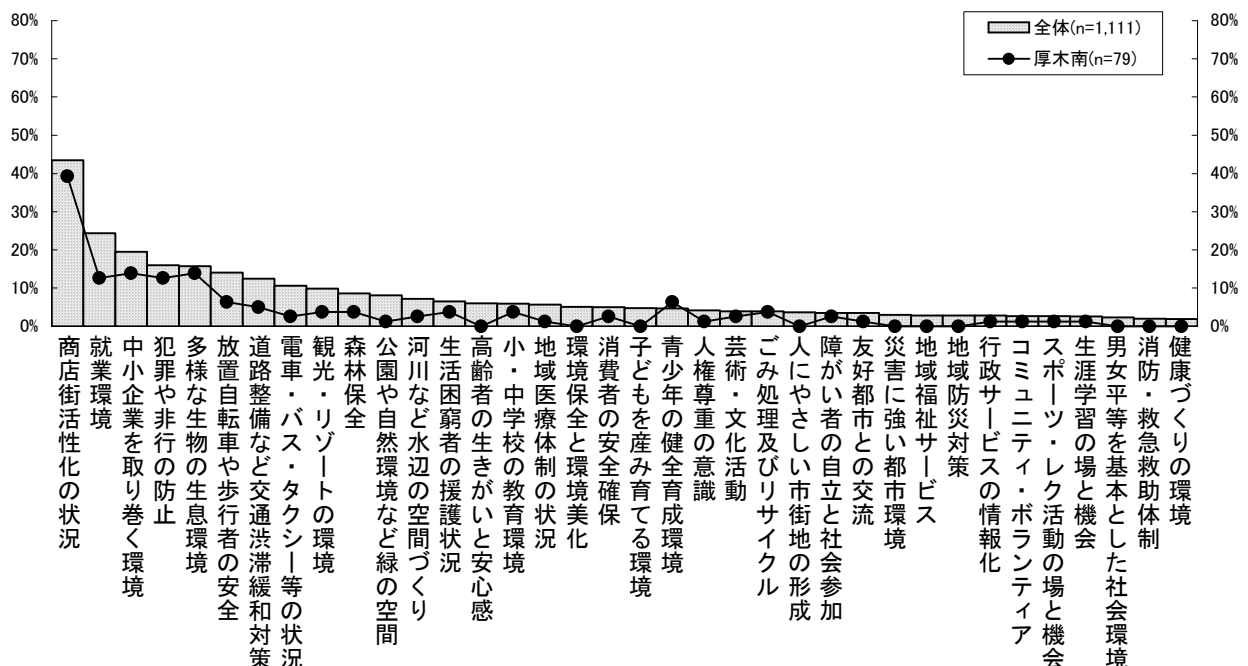
「良くなったもの」では、全体と比べて、特に「放置自転車や歩行者の安全」、「河川など水辺の空間づくり」、「地域防災対策」が高く、他にも「人にやさしい市街地の形成」、「行政サービスの情報化」、「電車、バス、タクシー等の状況」、「ごみ処理及びリサイクル」、「犯罪や非行の防止」、「災害に強い都市環境」、「公園や自然環境など緑の空間」も高くなっている。

図 14-2-4 まちづくり全般の変化－厚木南地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて、特に「就業環境」が低く、次いで「電車、バス、タクシー等の状況」、「放置自転車や歩行者の安全」、「道路整備など交通渋滞緩和対策」、「公園や自然環境など緑の空間」、「観光・リゾートの環境」、「高齢者の生きがいと安心感」、「中小企業を取り巻く環境」、「環境保全と環境美化」なども低くなっている。

図 14-2-5 まちづくり全般の変化－厚木南地区（悪くなったもの）

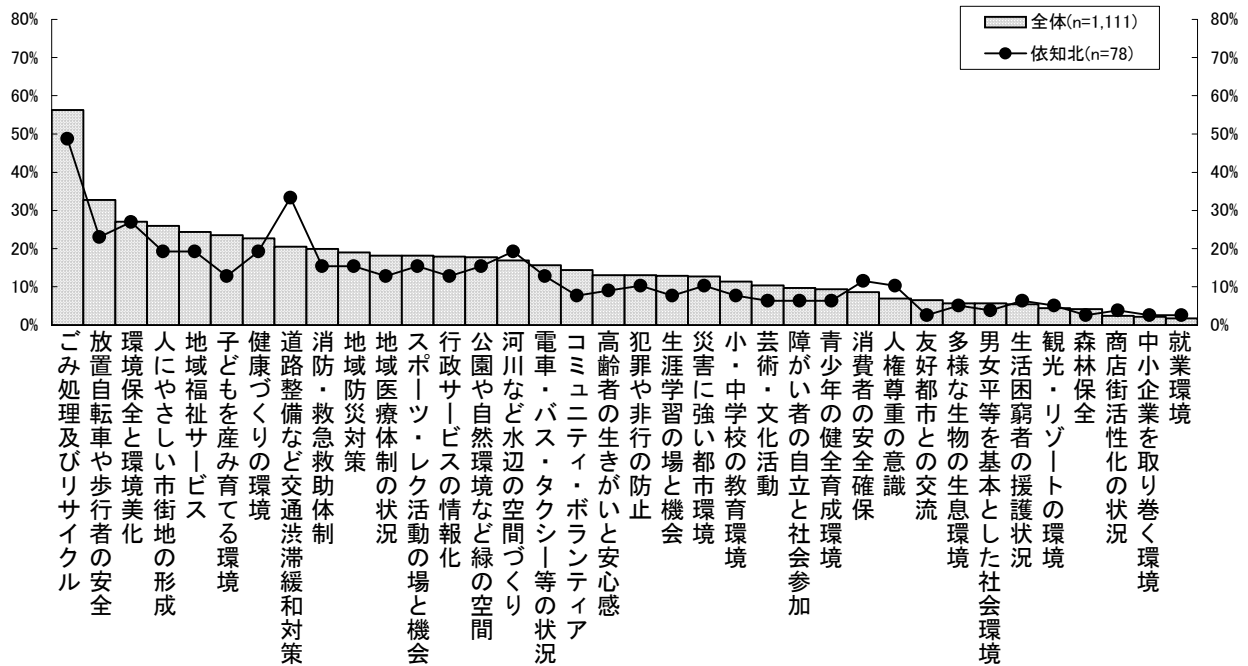


〔依知北地区〕

良くなったものでは、全体と比べて「道路整備など交通渋滞緩和対策」が特に高くなっている。次いで、「河川など水辺の空間づくり」「消費者の安全確保」「人権尊重の意識」が高くなっている。

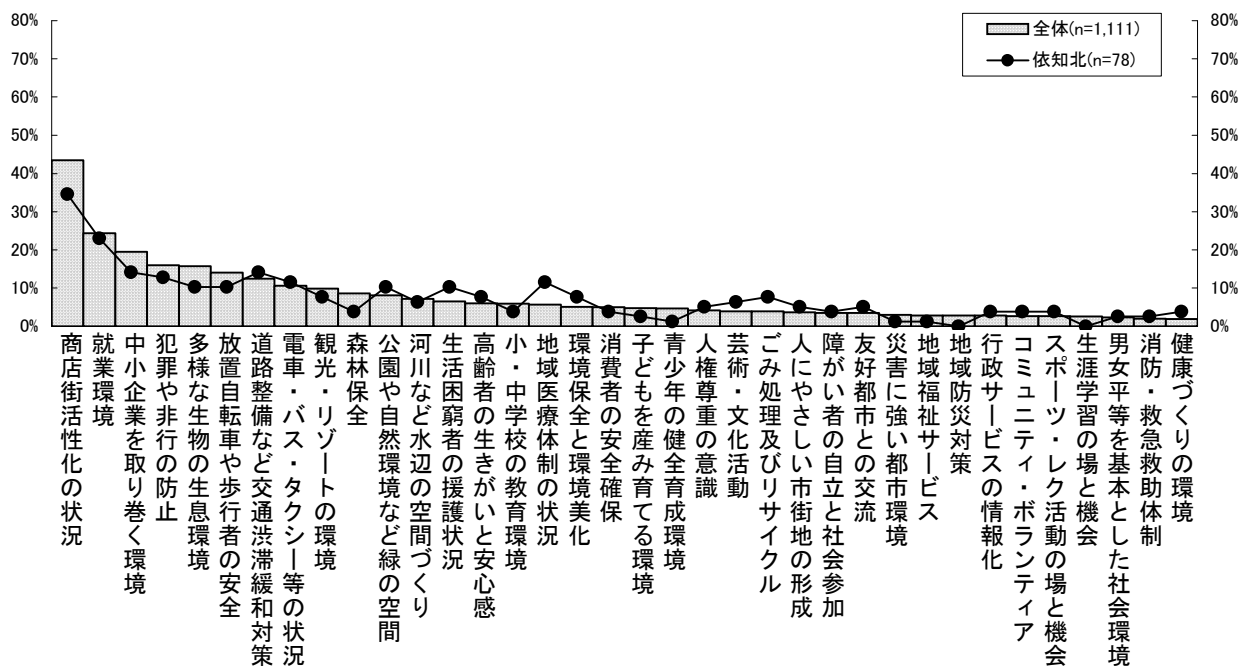
一方、「放置自転車や歩行者の安全」、「ごみ処理及びリサイクル」、「人にやさしい市街地の形成」、「コミュニティ・ボランティア」、「地域医療体制の状況」、「生涯学習の場と機会」などが低く、特に「子どもを産み育てる環境」が低くなっている。

図 14-2-6 まちづくり全般の変化－依知北地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「地域医療体制の状況」、「生活困窮者の援護状況」が高くなっている。一方、「商店街活性化の状況」、「多様な生物の生息環境」、「中小企業を取り巻く環境」が低くなっている。

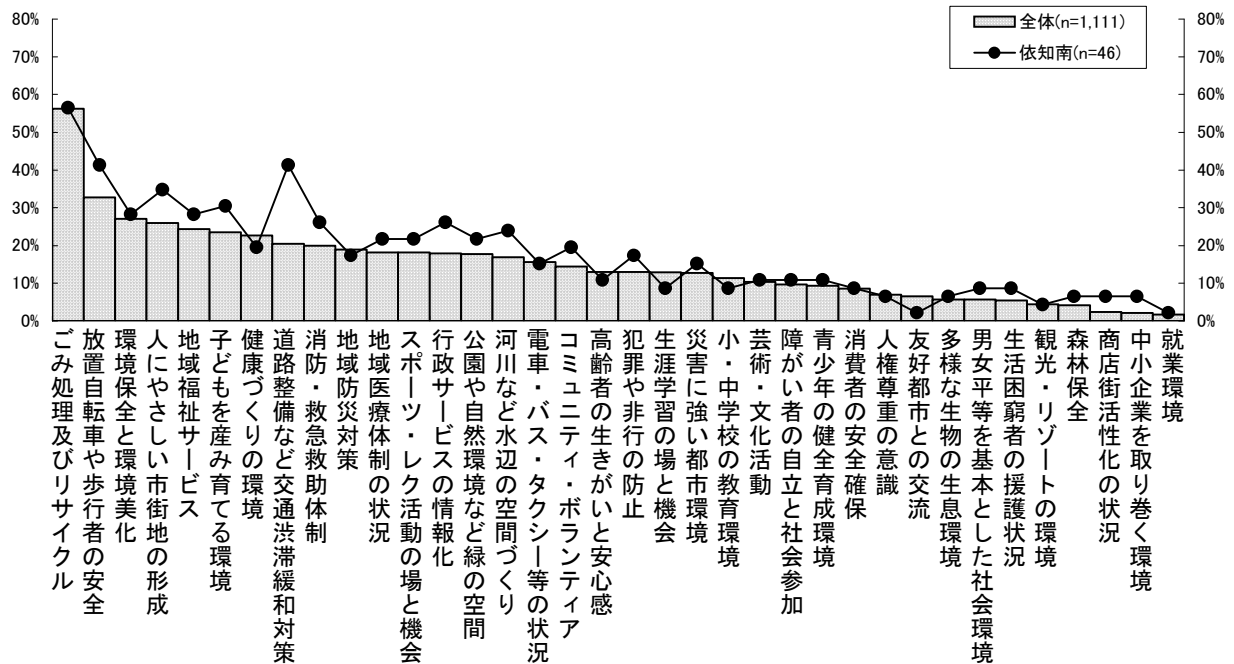
図 14-2-7 まちづくり全般の変化－依知北地区（悪くなったもの）



〔依知南地区〕

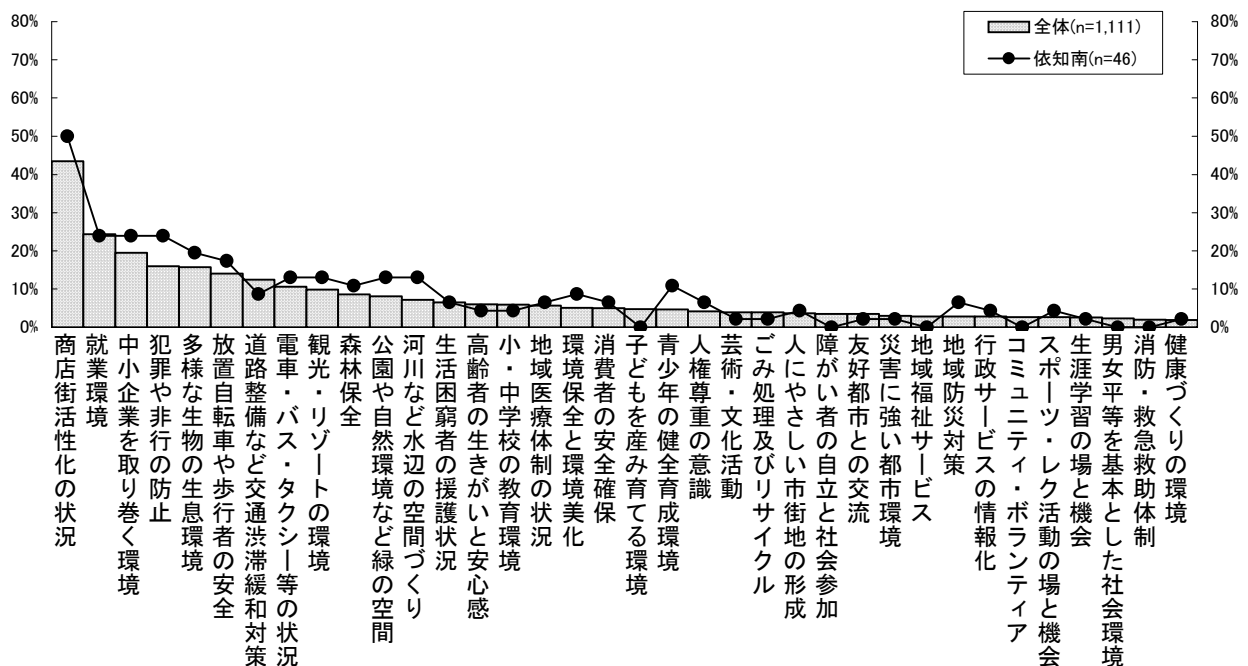
良くなったものでは、全体と比べて、特に「道路整備など交通渋滞緩和対策」が高く、次いで「人にやさしい市街地の形成」、「放置自転車や歩行者の安全」、「行政サービスの情報化」、「河川など水辺の空間づくり」、「子どもを産み育てる環境」、「消防・救急救助体制」、「コミュニティ・ボランティア」が高くなっている。

図 14-2-8 まちづくり全般の変化－依知南地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて、「犯罪や非行の防止」、「商店街活性化の状況」、「青少年の健全育成環境」、「河川など水辺の空間づくり」が高くなっている。

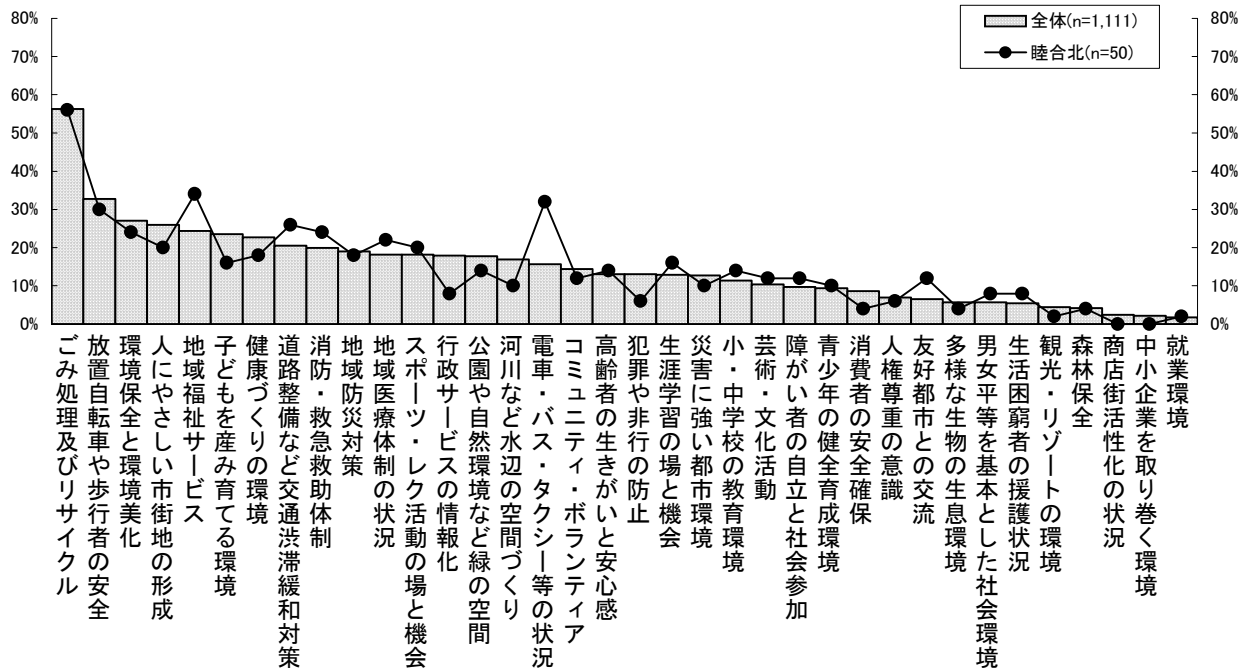
図 14-2-9 まちづくり全般の変化－依知南地区（悪くなったもの）



〔睦合北地区〕

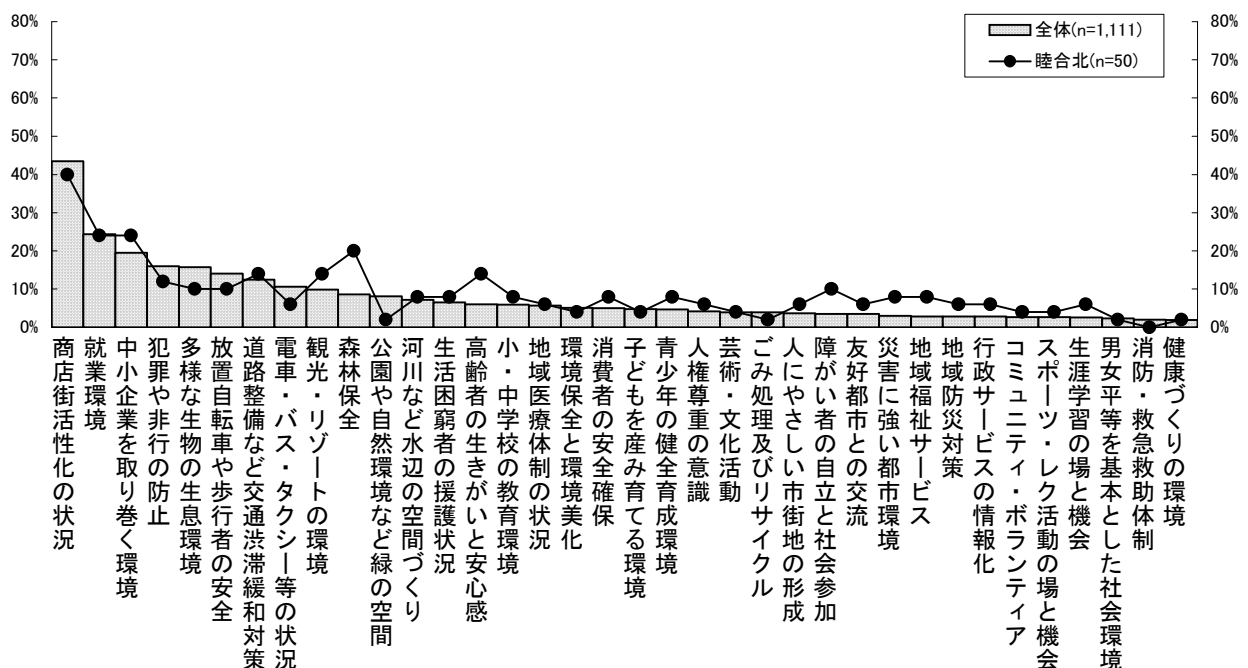
良くなったものでは、全体と比べて「電車、バス、タクシー等の状況」が特に高く、次いで「地域福祉サービス」、「友好都市との交流」、「道路整備など交通渋滞緩和対策」が高くなっている。一方、「行政サービスの情報化」、「子どもを産み育てる環境」、「犯罪や非行の防止」、「河川など水辺の空間づくり」、「人にやさしい市街地の形成」が低くなっている。

図 14-2-10 まちづくり全般の変化－睦合北地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「森林保全」が特に高く、「高齢者の生きがいと安心感」、「障がい者の自立と社会参加」、「地域福祉サービス」、「災害に強い都市環境」などが高くなっている。一方、「公園や自然環境など緑の空間」、「多様な生物の生息環境」などが低くなっている。

図 14-2-11 まちづくり全般の変化－睦合北地区（悪くなったもの）

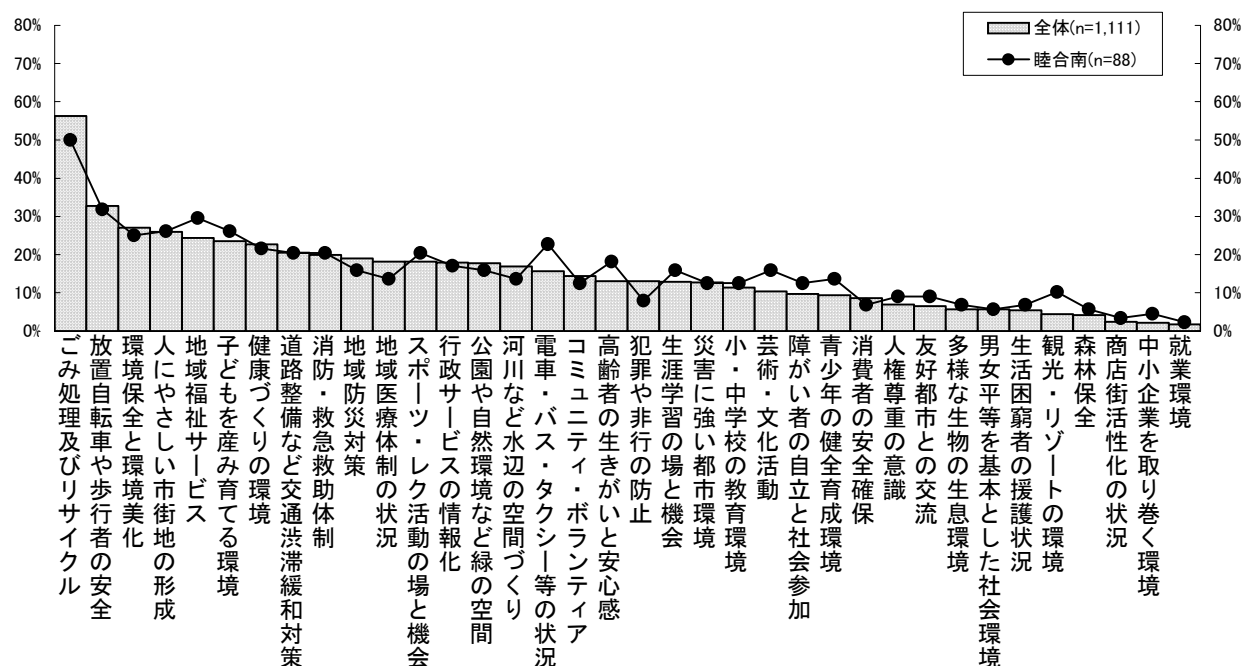


〔睦合南地区〕

良くなったものでは、全体と比べて「電車、バス、タクシー等の状況」、「観光・リゾートの環境」、「芸術・文化活動」、「地域福祉サービス」、「高齢者の生きがいと安心感」が高くなっている。

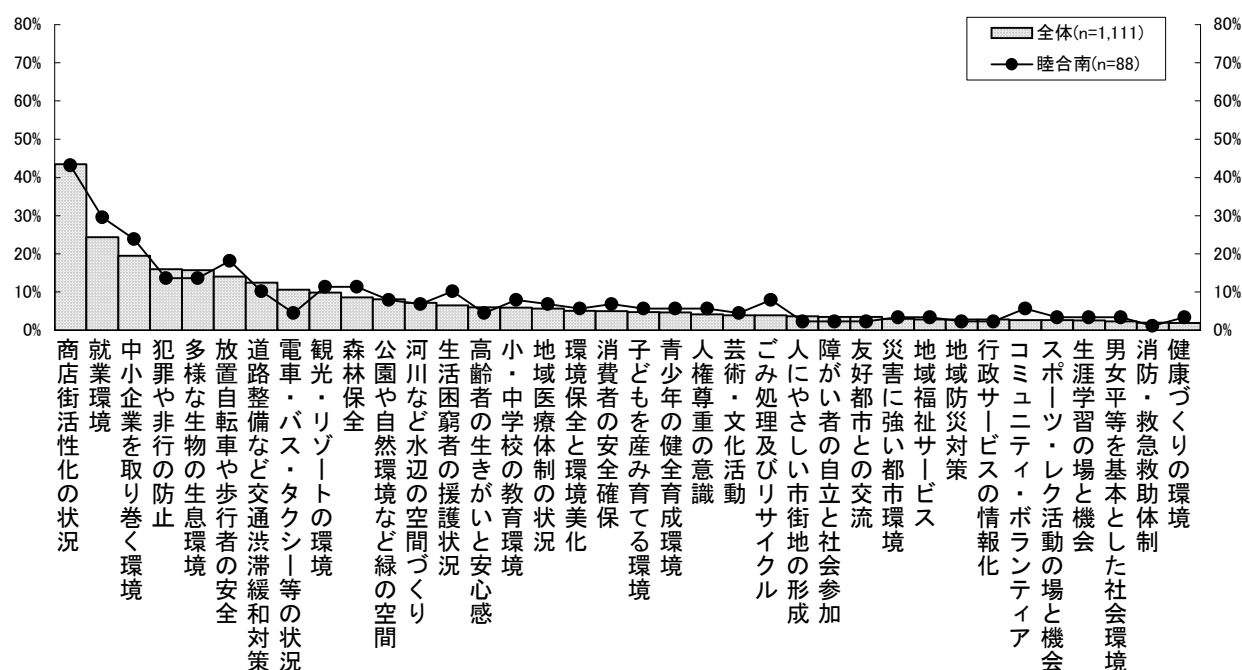
一方、「ごみ処理及びリサイクル」、「犯罪や非行の防止」は低くなっている。

図 14-2-12 まちづくり全般の変化－睦合南地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「就業環境」が高くなっている。また、「電車、バス、タクシー等の状況」が低くなっている。

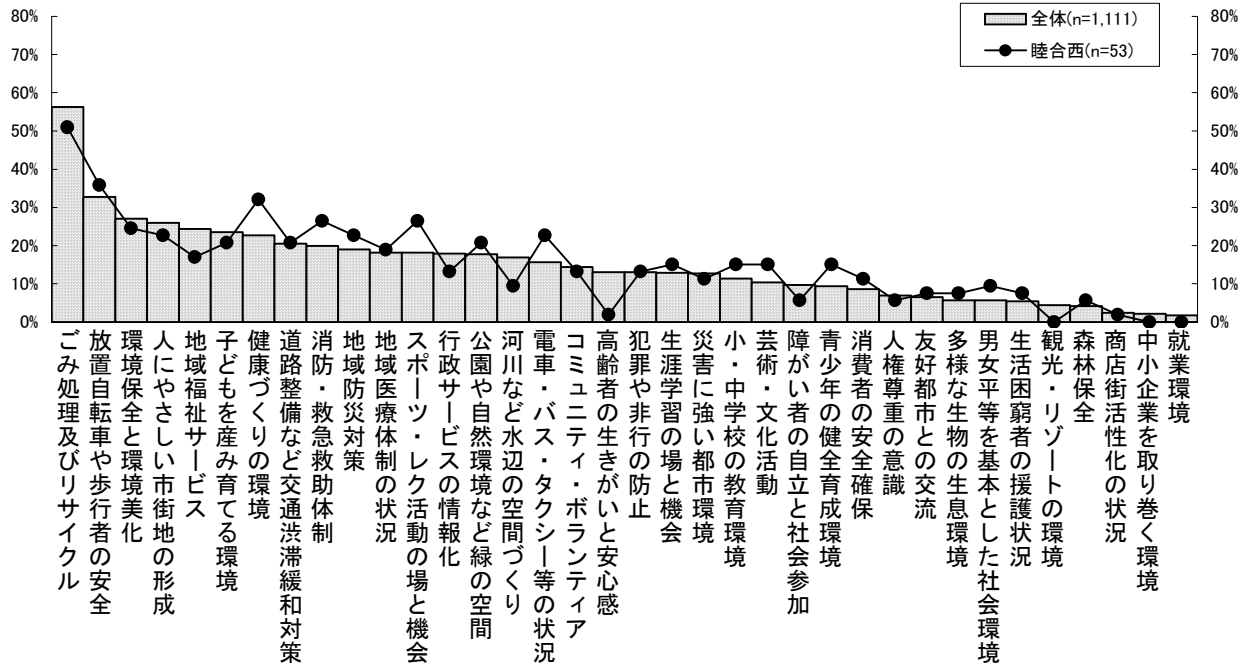
図 14-2-13 まちづくり全般の変化－睦合南地区（悪くなったもの）



〔睦合西地区〕

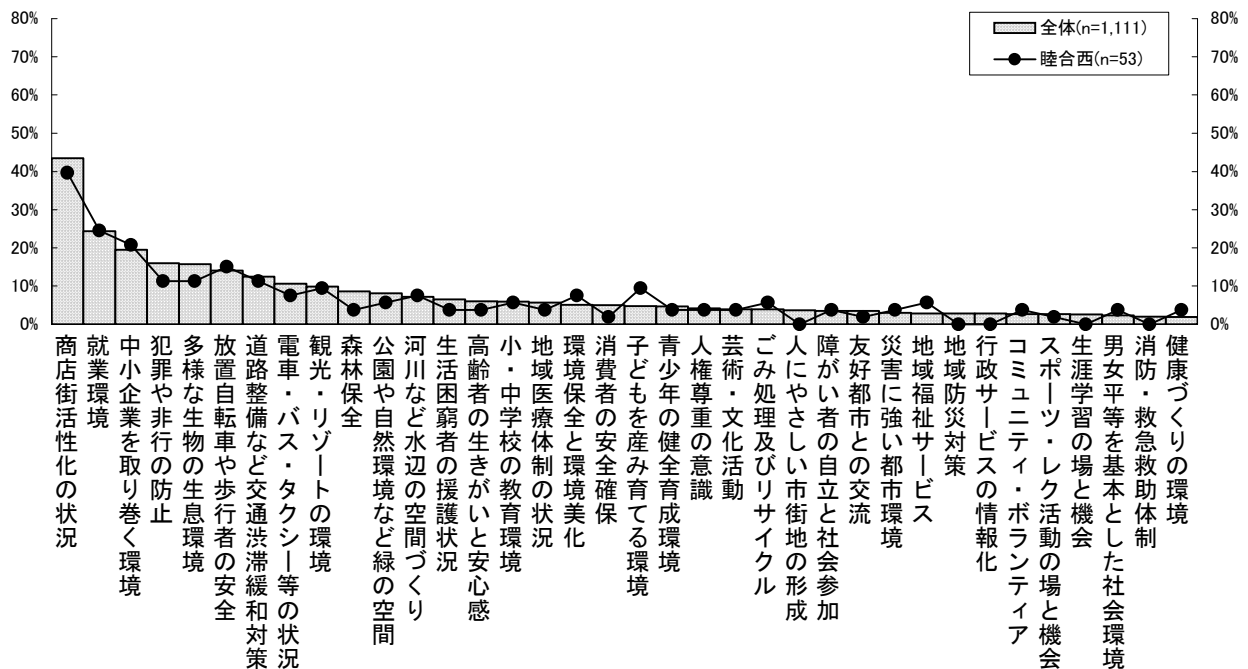
良くなったものでは、全体と比べて「健康づくりの環境」、「スポーツ・レク活動の場と機会」、「電車、バス、タクシー等の状況」、「消防・救急救助体制」、「青少年の健全育成環境」が高くなっている。一方、「高齢者の生きがいと安心感」は特に低く、「河川など水辺の空間づくり」、「地域福祉サービス」、「ごみ処理及びリサイクル」などが低くなっている。

図 14-2-14 まちづくり全般の変化―睦合西地区（良くなったもの）



悪くなったものは、全ての項目で全体と比べて±5 ポイント以内の差となっており、目立った傾向はみられない。

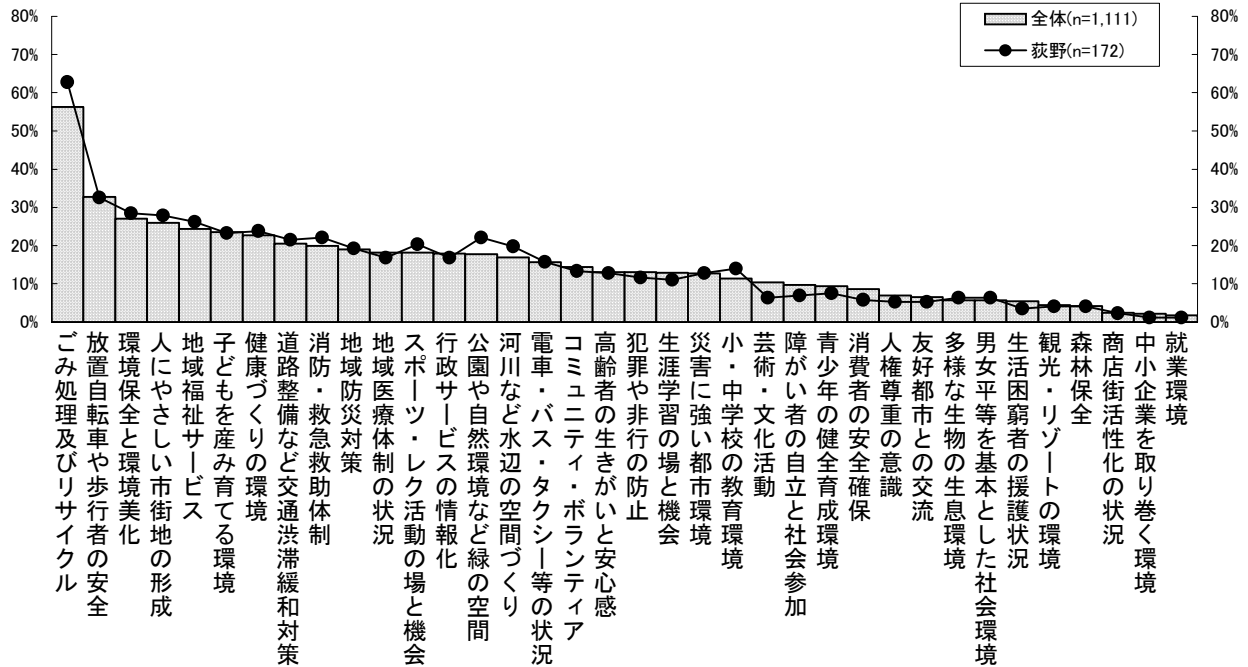
図 14-2-15 まちづくり全般の変化―睦合西地区（悪くなったもの）



〔荻野地区〕

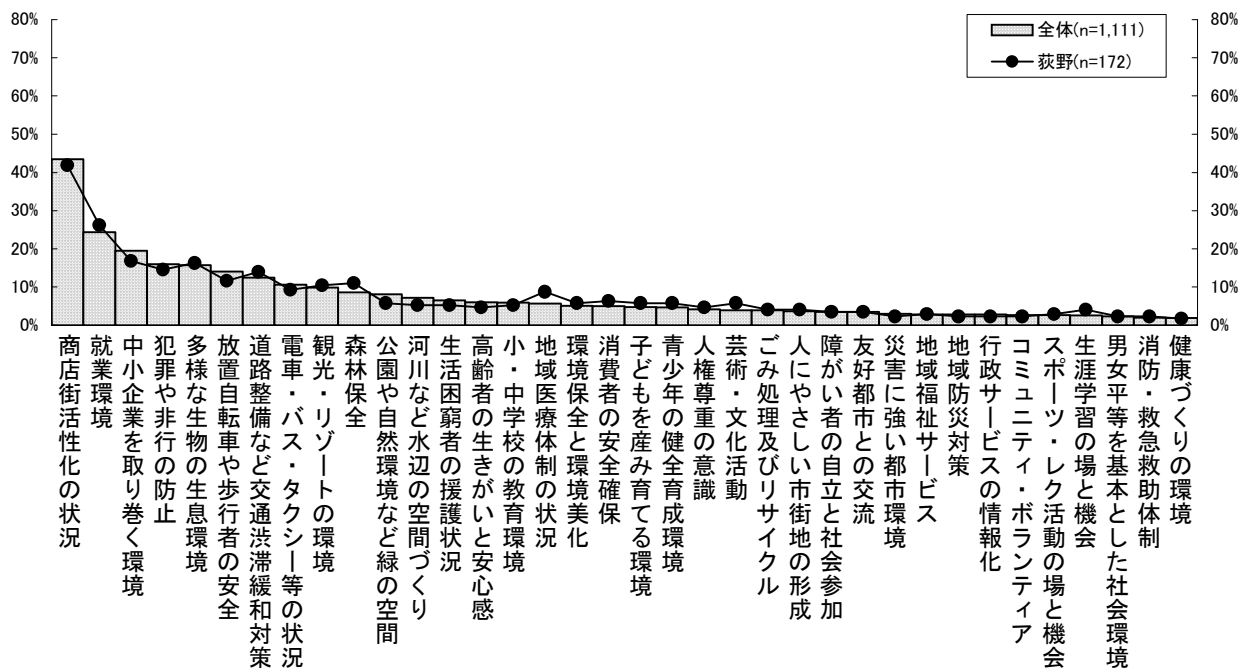
良くなったものでは、全体と比べて「ごみ処理及びリサイクル」、「公園等の緑の空間」が高くなっている。

図 14-2-16 まちづくり全般の変化－荻野地区（良くなったもの）



悪くなったものは、全ての項目で全体と比べて±5 ポイント以内の差となっており、目立った傾向はみられない。

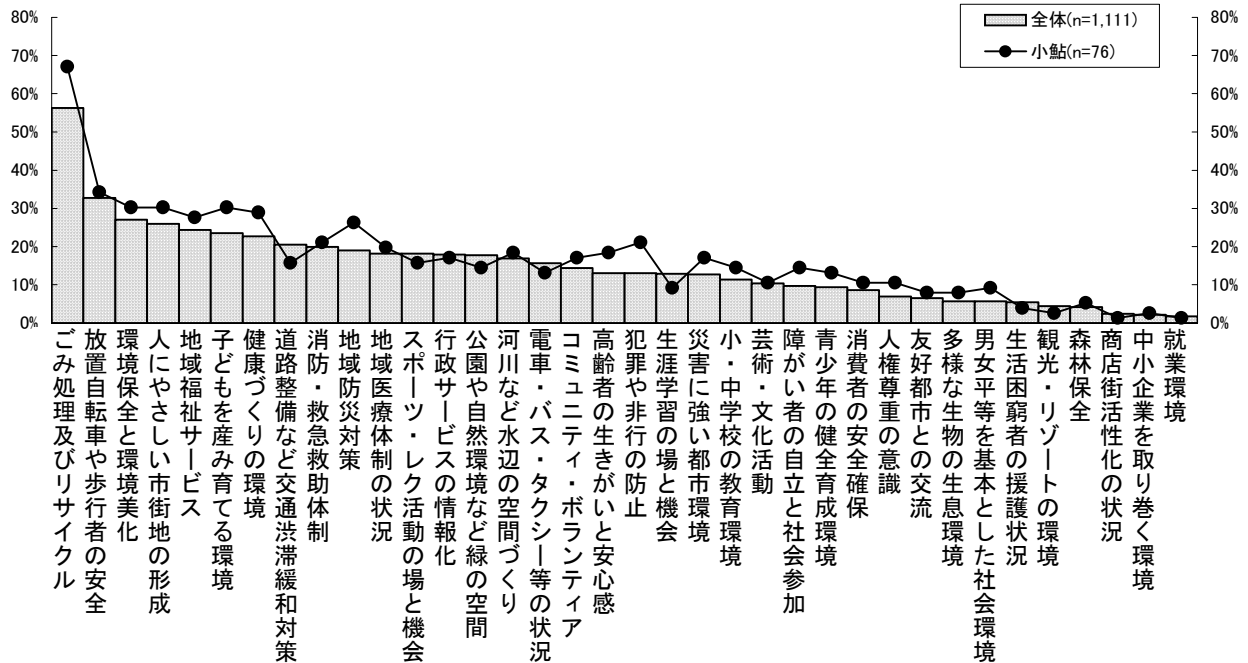
図 14-2-17 まちづくり全般の変化－荻野地区（悪くなったもの）



〔小鮎地区〕

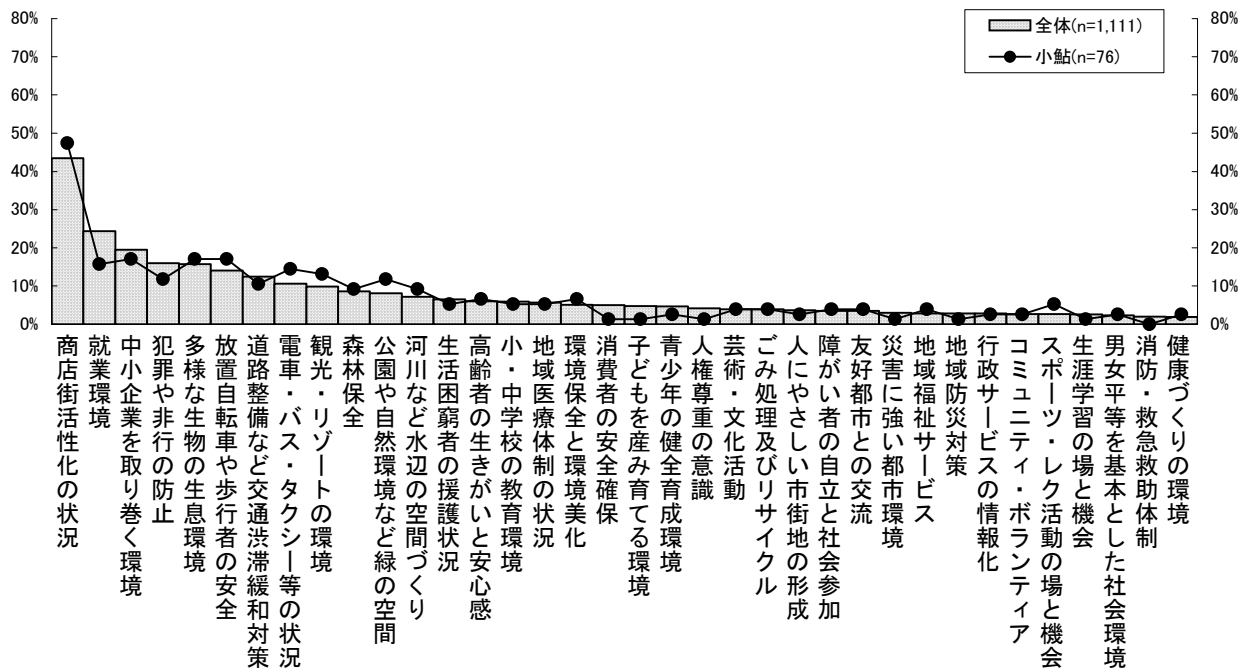
良くなったものでは、全体と比べて、特に「ごみ処理及びリサイクル」をはじめ、「犯罪や非行の防止」、「地域防災対策」、「子どもを産み育てる環境」、「健康づくりの環境」、「高齢者の生きがいと安心感」が高くなっている。

図 14-2-18 まちづくり全般の変化—小鮎地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「就業環境」が特に低くなっている。

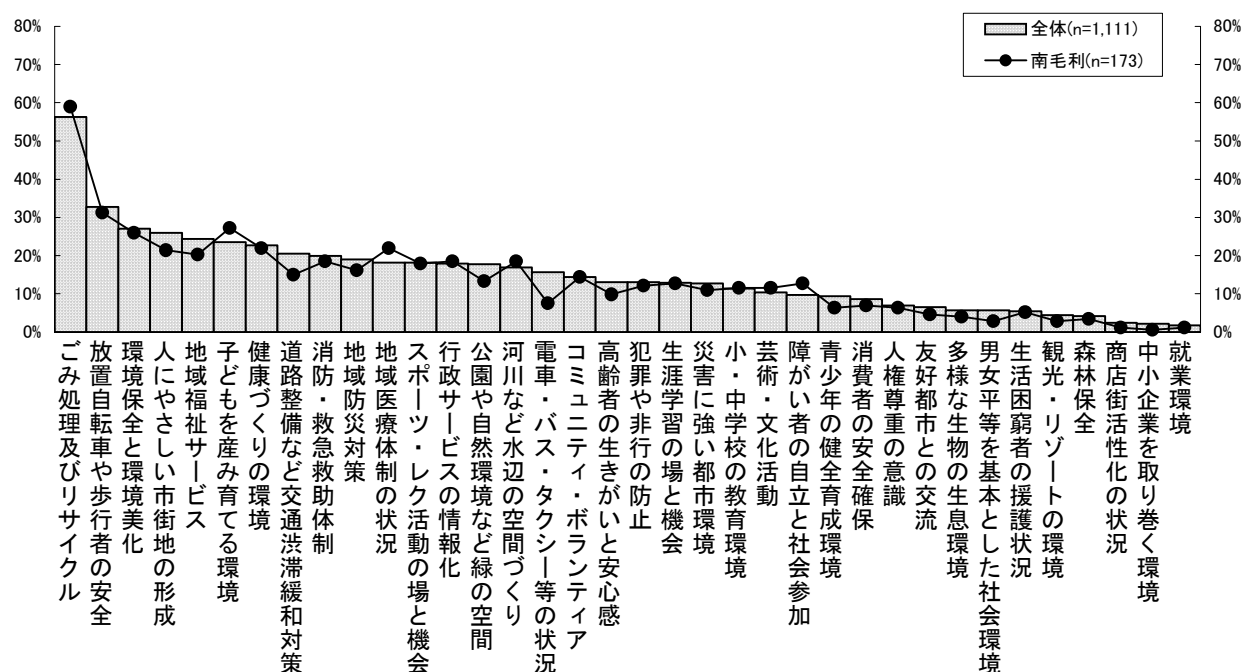
図 14-2-19 まちづくり全般の変化—小鮎地区（悪くなったもの）



〔南毛利地区〕

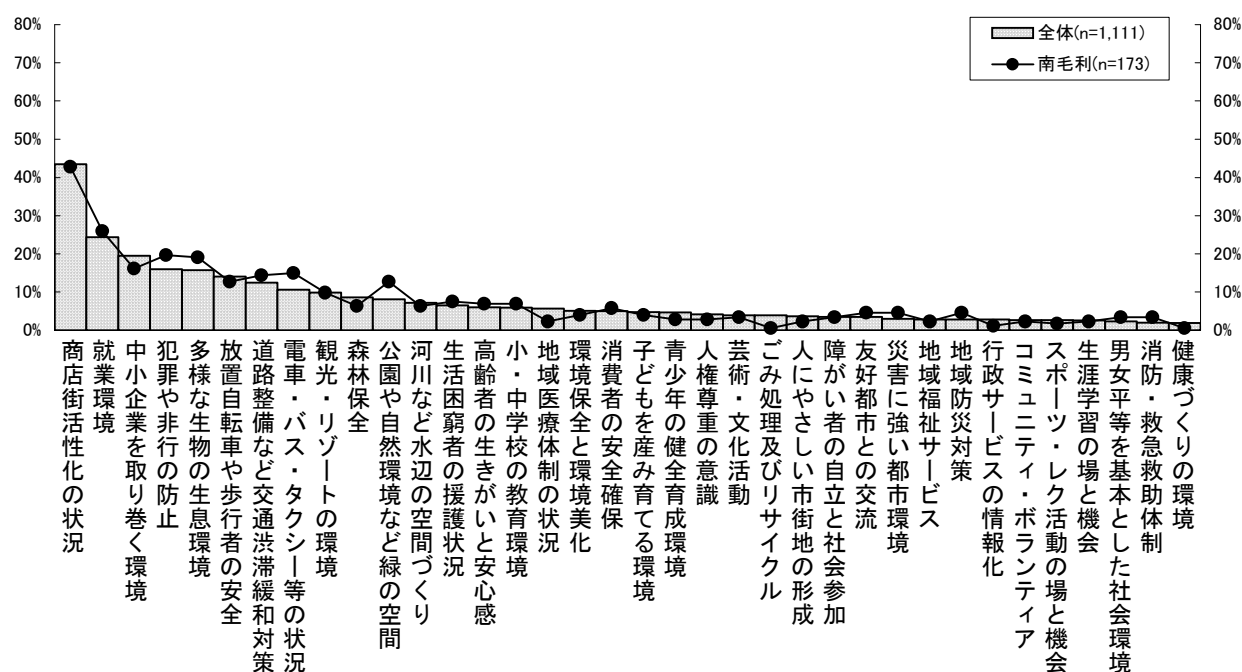
良くなったものでは、全体と比べて「地域医療体制の状況」、「ごみ処理及びリサイクル」、「子どもを産み育てる環境」が高くなっている。一方、「電車、バス、タクシー等の状況」、「道路整備など交通渋滞緩和対策」が低くなっている。

図 14-2-20 まちづくり全般の変化—南毛利地区（良くなったもの）



悪くなったものは、全ての項目で全体と比べて±5 ポイント以内の差となっており、目立った傾向はみられない。

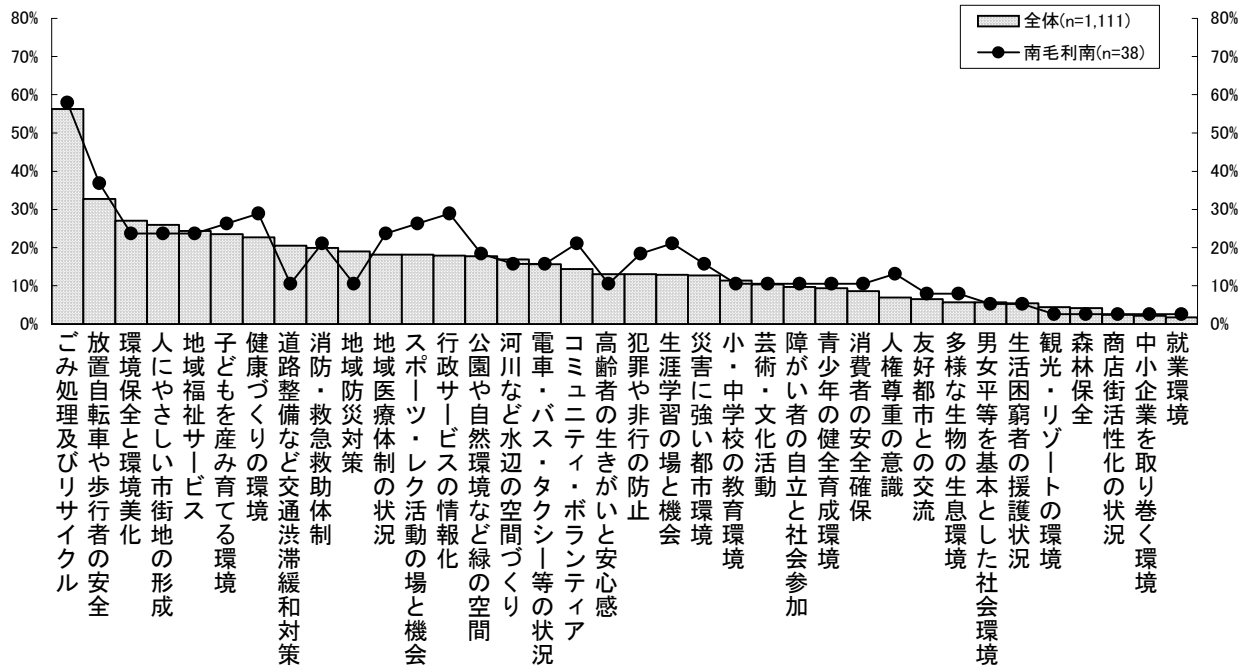
図 14-2-21 まちづくり全般の変化—南毛利地区（悪くなったもの）



〔南毛利南地区〕

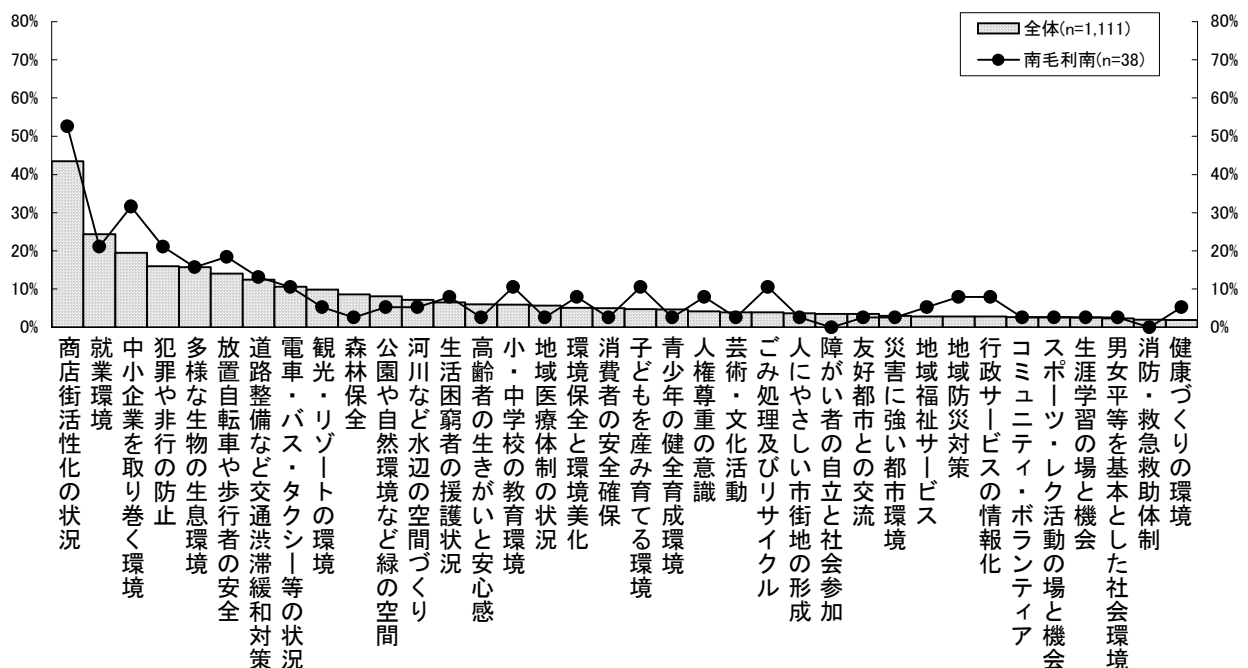
良くなったものでは、全体と比べて「行政サービスの情報化」が特に高く、「生涯学習の場と機会」、「スポーツ・レク活動の場と機会」、「コミュニティ・ボランティア」、「健康づくりの環境」、「人権尊重の意識」、「地域医療体制の状況」、「犯罪や非行の防止」が高くなっている。一方、「道路整備など交通渋滞緩和対策」が特に低く、「地域防災対策」も低くなっている。

図 14-2-22 まちづくり全般の変化—南毛利南地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「中小企業を取り巻く環境」が特に高く、「商店街活性化の状況」、「ごみ処理及びリサイクル」、「子どもを産み育てる環境」、「犯罪や非行の防止」、「地域防災対策」、「行政サービスの情報化」などが高くなっている。一方、「森林保全」が低くなっている。

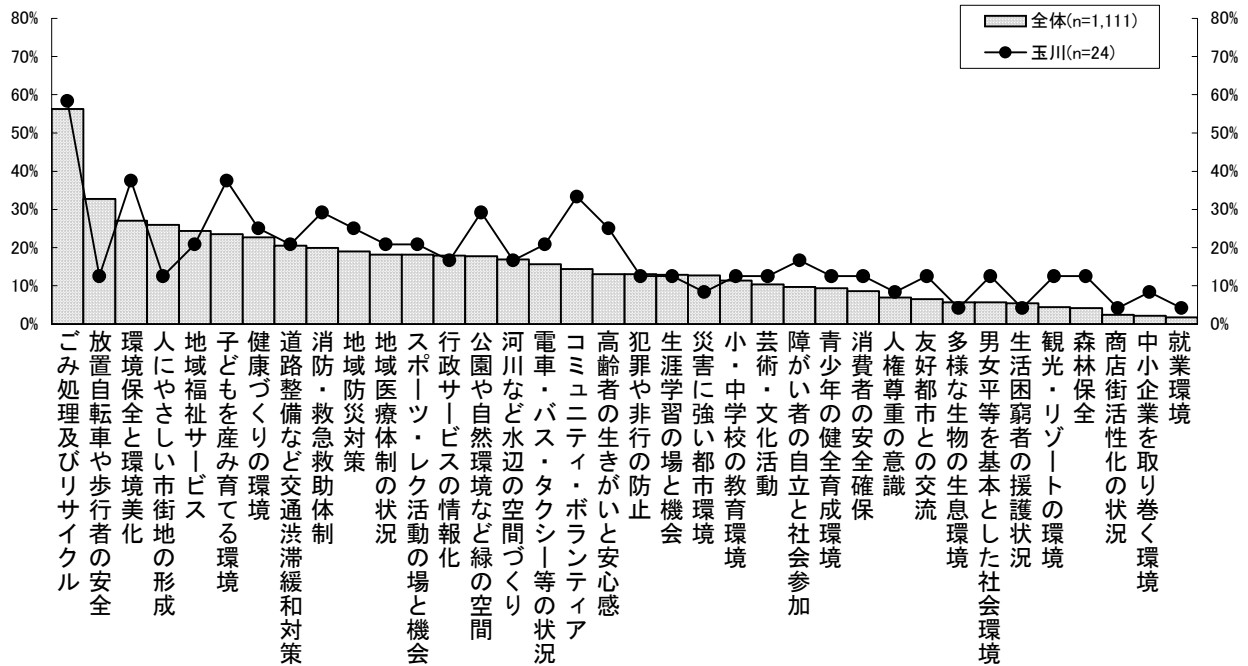
図 14-2-23 まちづくり全般の変化—南毛利南地区（悪くなったもの）



〔玉川地区〕

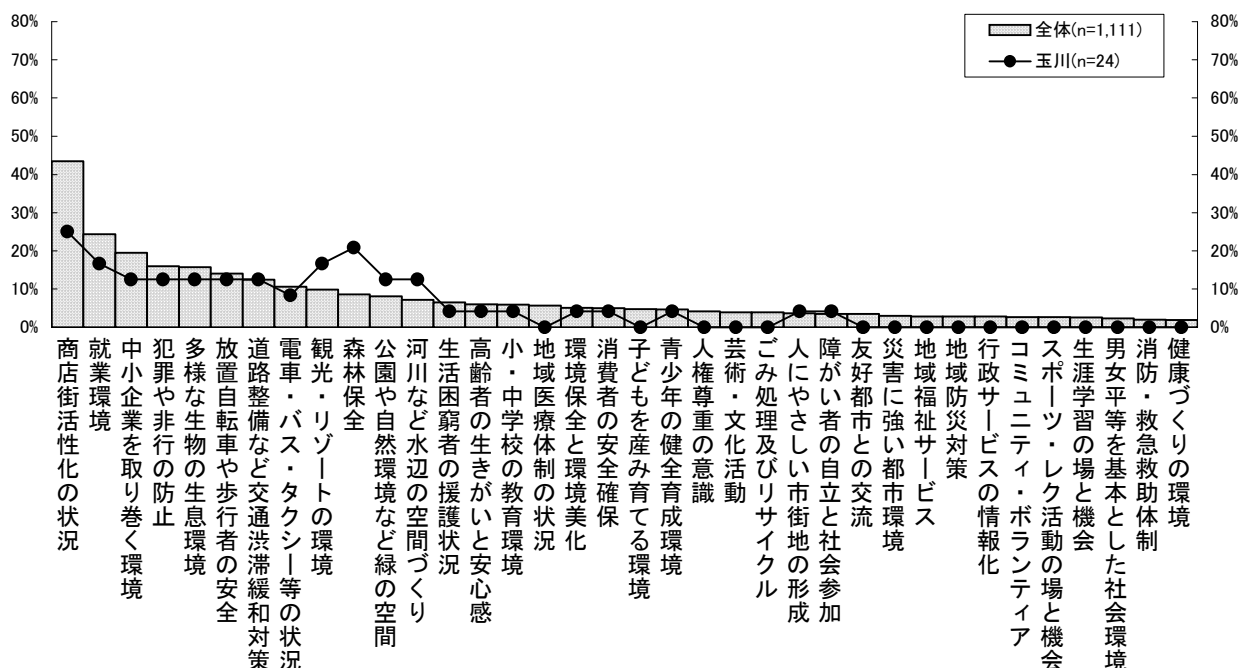
良くなったものでは、全体と比べて「コミュニティ・ボランティア」、「子どもを産み育てる環境」、「高齢者の生きがいと安心感」、「公園や自然環境など緑の空間」、「環境保全と環境美化」が特に高くなっている。一方、「放置自転車や歩行者の安全」、「人にやさしい市街地の形成」が特に低くなっている。

図 14-2-24 まちづくり全般の変化―玉川地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「森林保全」が特に高く、「観光・リゾートの環境」、「河川など水辺の空間づくり」などが高くなっている。一方、「商店街活性化の状況」が特に低く、「就業環境」、「中小企業を取り巻く環境」、「地域医療体制の状況」などが低くなっている。

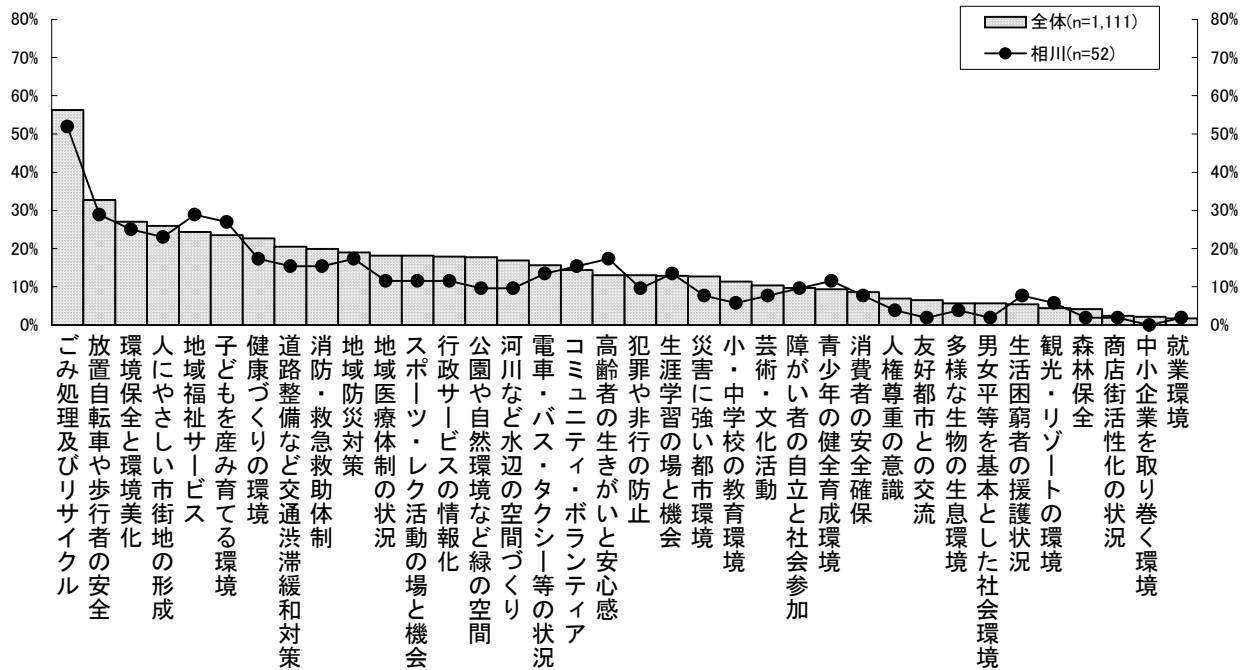
図 14-2-25 まちづくり全般の変化―玉川地区（悪くなったもの）



〔相川地区〕

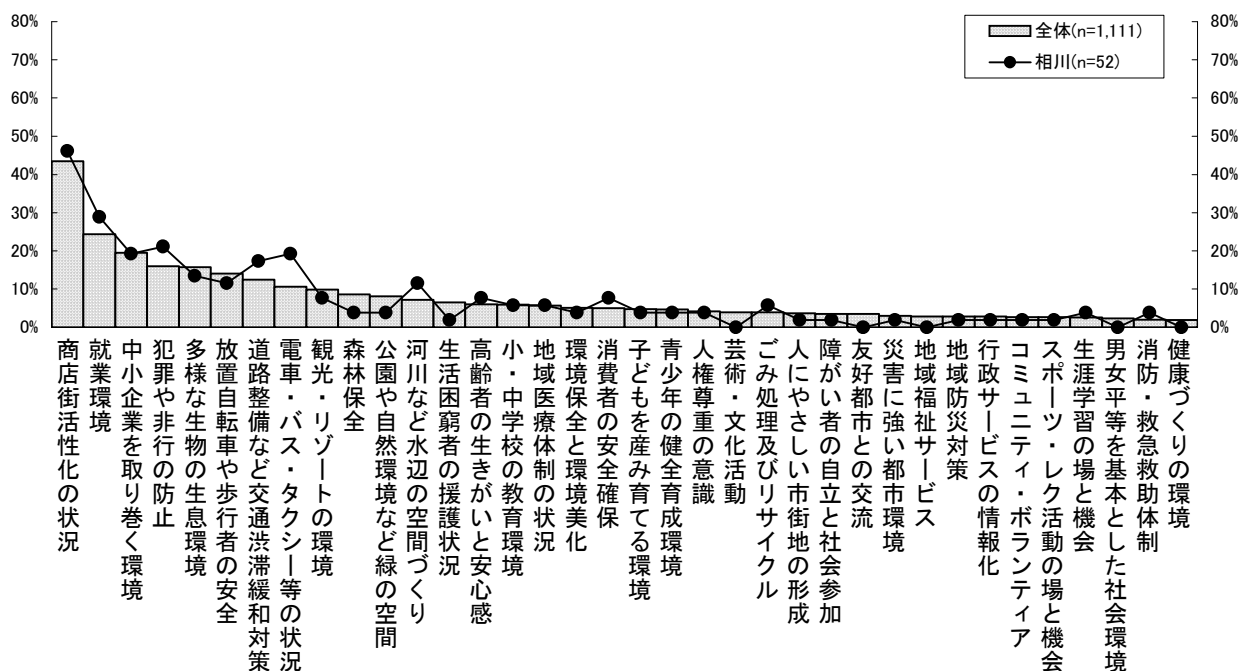
良くなったものでは、全体と比べて、「地域福祉サービス」、「高齢者の生きがいと安心感」「子どもを産み育てる環境」が高くなっている。一方、「公園や自然環境など緑の空間」、「河川など水辺の空間づくり」、「地域医療体制の状況」、「スポーツ・レク活動の場と機会」、「行政サービスの情報化」、「小・中学校の教育環境」、「健康づくりの環境」、「道路整備など交通渋滞緩和対策」、「災害に強い都市環境」が低くなっている。

図 14-2-26 まちづくり全般の変化－相川地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「電車、バス、タクシー等の状況」、「犯罪や非行の防止」が高くなっている。

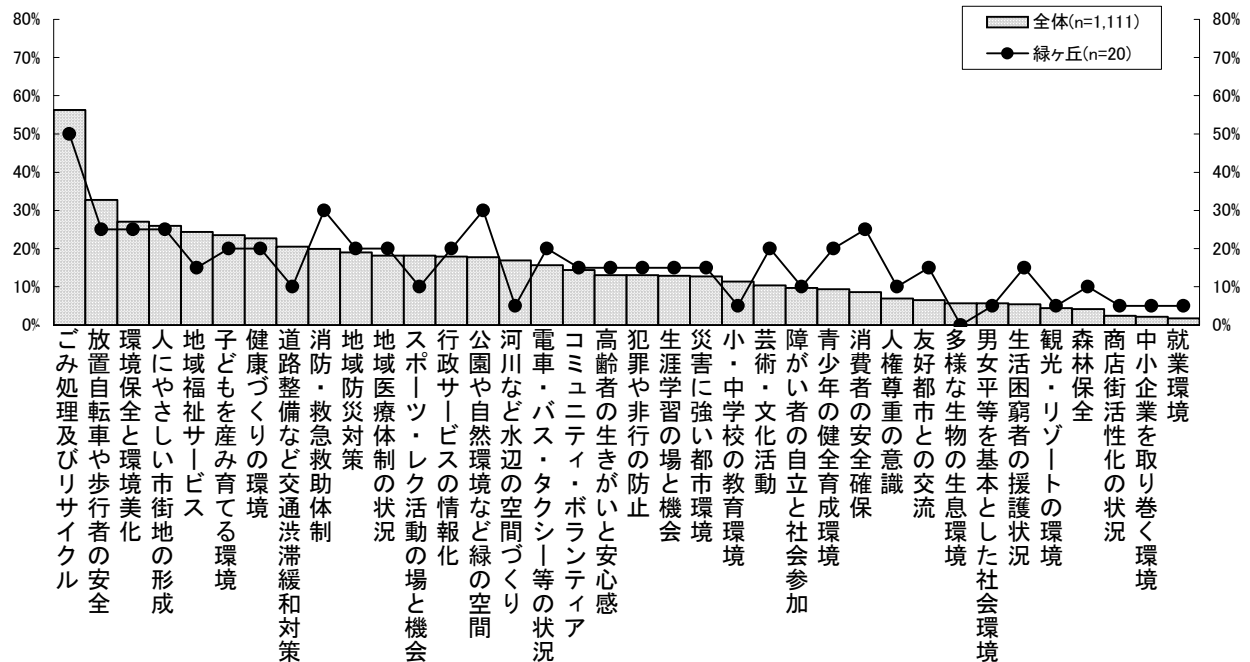
図 14-2-27 まちづくり全般の変化－相川地区（悪くなったもの）



〔緑ヶ丘地区〕

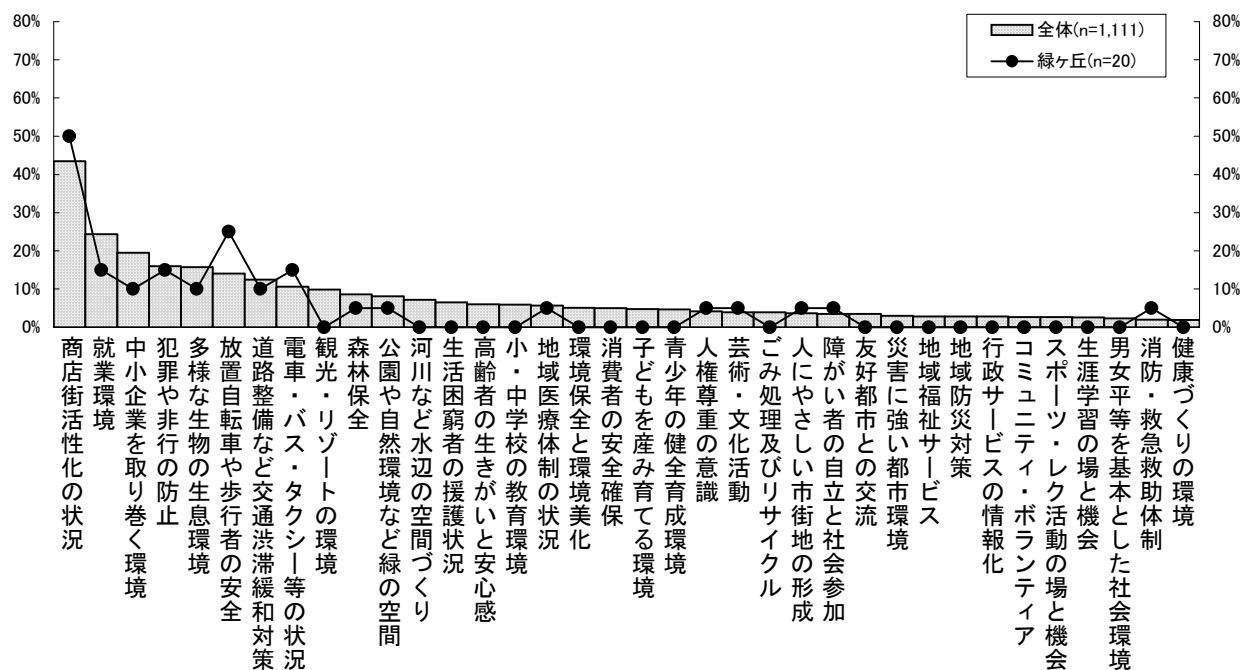
良くなったものでは、全体と比べて「消費者の安全確保」、「公園や自然環境など緑の空間」、「青少年の健全育成環境」、「消防・救急救助体制」が特に高くなっている。一方、「河川など水辺の空間づくり」、「道路整備など交通渋滞緩和対策」が特に低くなっている。

図 14-2-28 まちづくり全般の変化－緑ヶ丘地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「放置自転車や歩行者の安全」が特に高く、他には「商店街活性化の状況」も高くなっている。

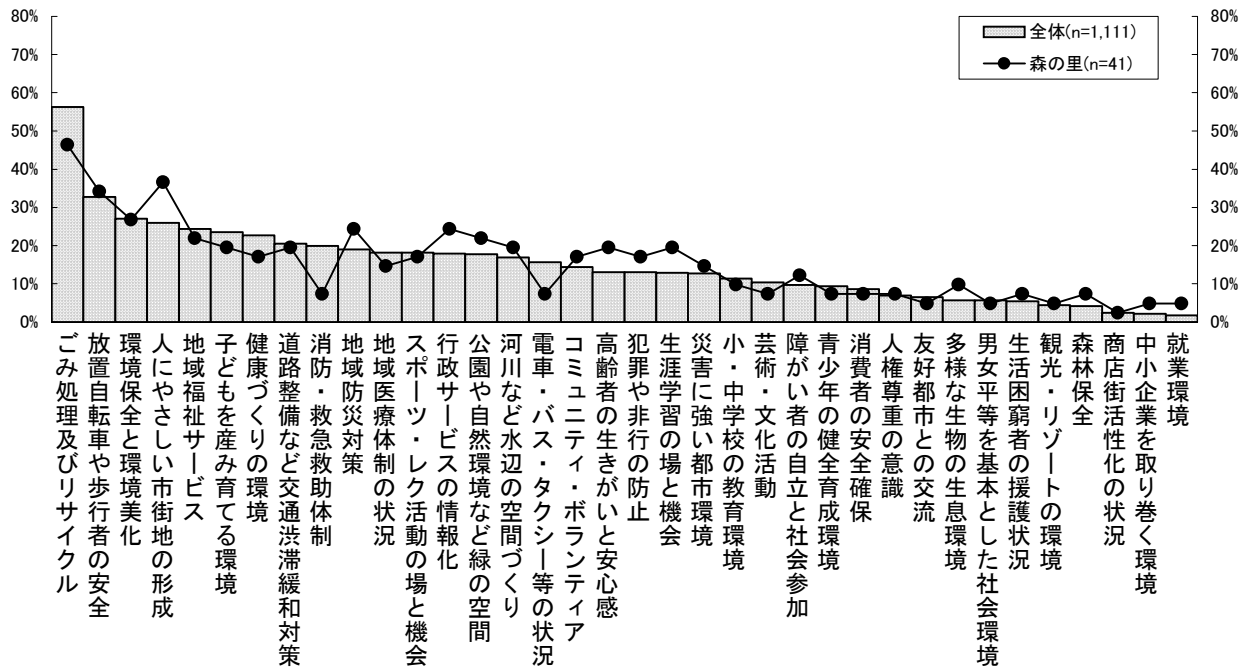
図 14-2-29 まちづくり全般の変化－緑ヶ丘地区（悪くなったもの）



〔森の里地区〕

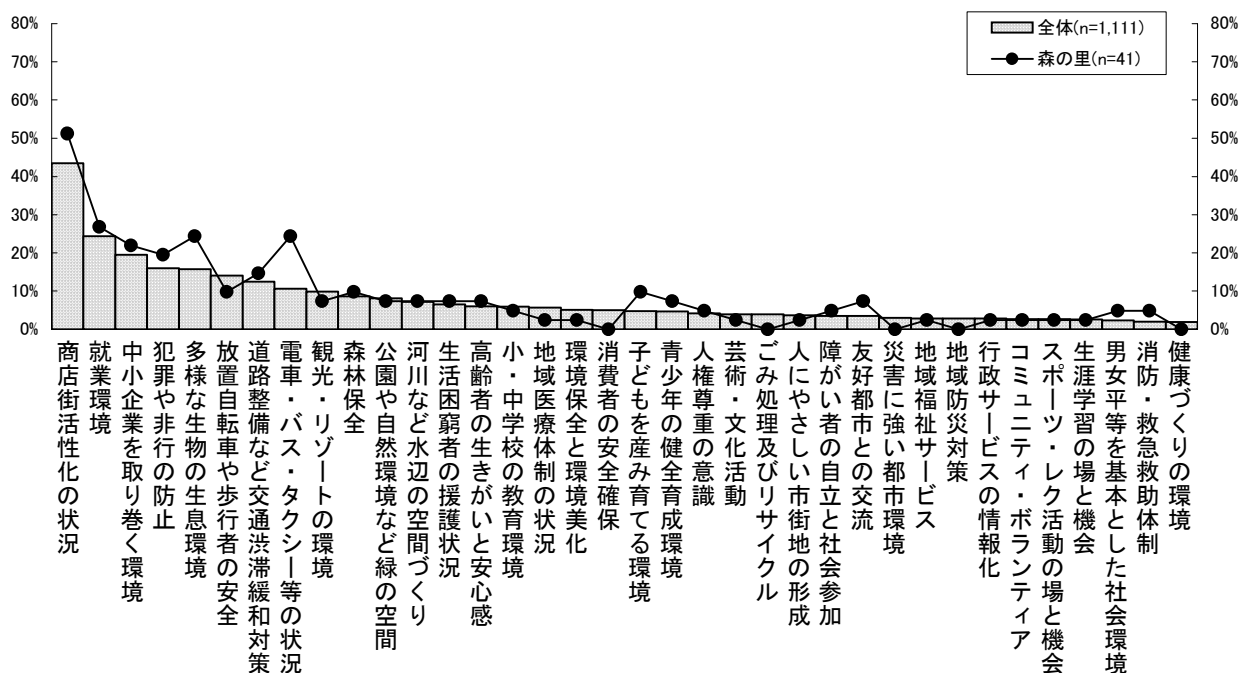
良くなったものでは、全体と比べて「人にやさしい市街地の形成」が特に高く、「生涯学習の場と機会」、「行政サービスの情報化」、「高齢者の生きがいと安心感」、「地域防災対策」も高くなっている。一方、「消防・救急救助体制」は特に低く、「ごみ処理及びリサイクル」、「電車、バス、タクシー等の状況」、「健康づくりの環境」などが低くなっている。

図 14-2-30 まちづくり全般の変化－森の里地区（良くなったもの）



悪くなったものでは、全体と比べて「電車、バス、タクシー等の状況」が特に高く、「多様な生物の生息環境」、「商店街活性化の状況」、「子どもを産み育てる環境」なども高くなっている。一方、「消費者の安全確保」が低くなっている。

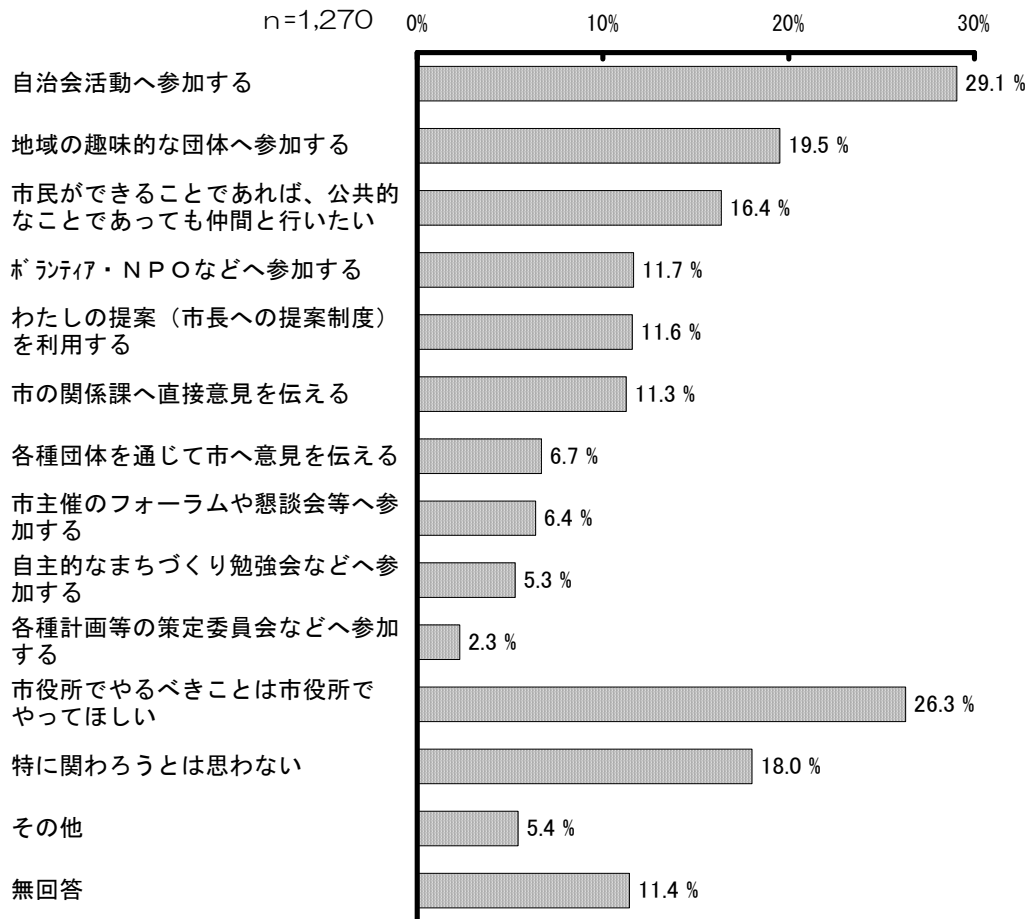
図 14-2-31 まちづくり全般の変化－森の里地区（悪くなったもの）



(3) まちづくりへの参加（A：問31）

問. あなたは、どのようにまちづくりに関わっていきたいと思いますか。（いくつでも）

図 14-3-1 まちづくりへの参加



【全体】

どのようにしてまちづくりに関わっていきたいと思うか聞いたところ、「自治会活動へ参加する」（29.1％）が3割に近く最も高くなっている。次いで、「地域の趣味的な団体へ参加する」（19.5％）、「市民ができることであれば、公共的なことであっても仲間で行いたい」（16.4％）となっている。

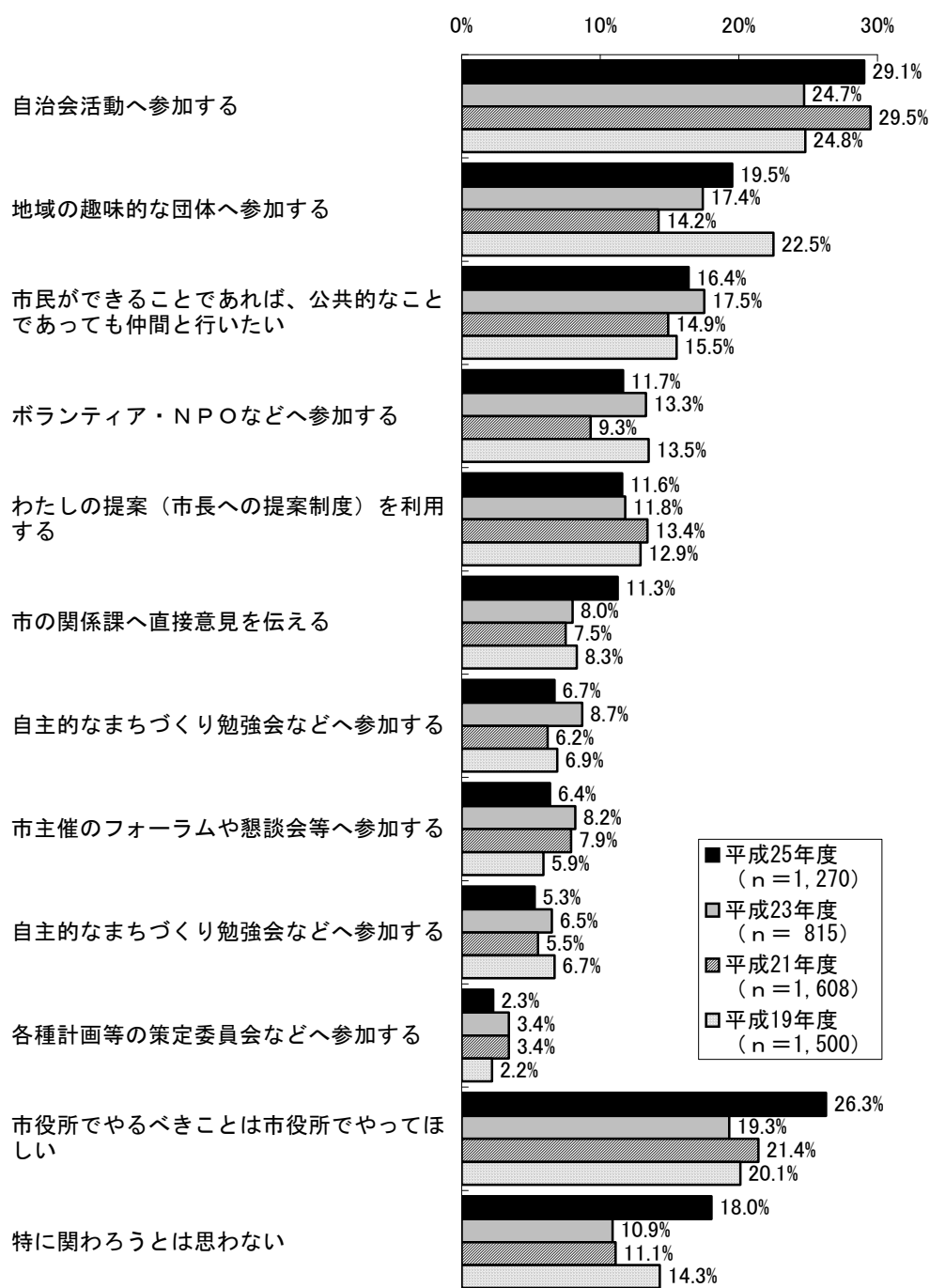
一方、「市役所でやるべきことは市役所でやってほしい」（26.3％）、「特に関わろうとは思わない」（18.0％）等の意見も見られる。

【経年変化】

経年による変化としては、「自治会活動へ参加する」が引き続き最も高い。また「市役所でやるべきことは市役所でやってほしい」、「市の関係課へ直接意見を伝える」の2項目は、直近4回の調査で最も高い結果となっている。

前回調査との比較では、「市役所でやるべきことは市役所でやってほしい」（26.3%）が前回より7.0ポイントの増加、「特に関わろうとは思わない」（18.0%）が7.1ポイントの増加となっている。

図 14-3-2 まちづくりへの参加—経年変化



【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別で見ると、20～39歳では「自治会活動へ参加する」は1割台と全体より低く、一方で「特に関わろうとは思わない」が2割台と全体より高くなっている。70歳代では「自治会活動へ参加する」が3割台と全体より高く、一方「特に関わろうとは思わない」が1割を下回り、全体より低くなっている。

表 14-3-1 まちづくりへの参加—性別、年齢別

(単位：%)	わたしの提案（市長への提案制度）を利用する	市主催のフォーラムや懇談会等へ参加する	各種計画等の策定委員会などへ参加する	市の関係課へ直接意見を伝える	自治会活動へ参加する	各種団体を通じて市へ意見を伝える	ボランティア・NPOなどへ参加する	自主的なまちづくり勉強会などへ参加する	地域の趣味的な団体へ参加する	市民ができることであれば、公共的なことであっても仲間と行いたい	市役所でやるべきことは市役所でやってほしい	特に関わろうとは思わない	その他	無回答
全体 (n=1,270)	11.6	6.4	2.3	11.3	29.1	6.7	11.7	5.3	19.5	16.4	26.3	18.0	5.4	11.4
男性 (n=556)	13.5	8.5	3.2	12.8	30.8	8.5	11.0	6.5	19.2	16.5	27.3	20.5	4.9	11.0
女性 (n=685)	10.4	4.5	1.2	9.9	27.9	5.4	12.1	4.1	19.4	16.2	25.4	16.1	5.8	11.8
20歳未満 (n=15)	6.7	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	13.3	0.0	20.0	33.3	26.7	6.7	6.7	6.7
20～29歳 (n=100)	10.0	2.0	0.0	7.0	14.0	5.0	27.0	5.0	23.0	17.0	29.0	25.0	4.0	2.0
30～39歳 (n=185)	15.7	3.8	2.7	10.3	19.5	7.0	9.2	5.4	17.3	18.4	26.5	23.2	8.6	3.2
40～49歳 (n=191)	14.1	5.2	1.6	12.6	28.8	8.4	11.0	2.6	21.5	16.2	23.0	19.9	7.9	4.2
50～59歳 (n=186)	8.6	5.9	1.6	10.8	31.7	5.9	10.2	3.2	18.8	10.2	23.1	22.6	4.3	8.6
60～69歳 (n=310)	7.4	8.7	2.6	9.7	35.8	6.1	9.7	5.5	19.7	18.7	25.5	15.2	2.6	15.8
70～79歳 (n=190)	16.3	7.9	3.7	17.9	34.7	8.9	11.1	10.0	18.4	17.9	33.2	9.5	5.3	22.1
80歳以上 (n=76)	11.8	7.9	1.3	7.9	26.3	3.9	10.5	3.9	15.8	9.2	27.6	15.8	7.9	26.3

居住地区別の結果

表 14-3-2 まちづくりへの参加—居住地区別

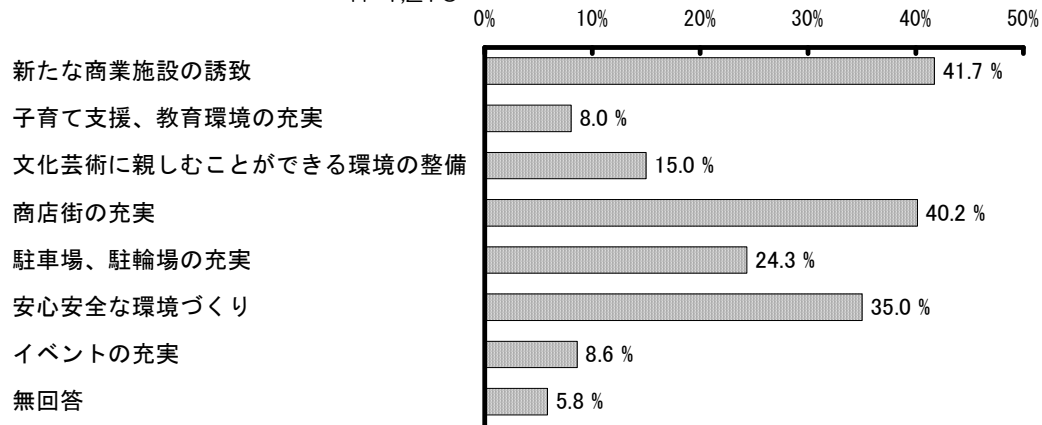
(単位：%)	わたしの提案（市長への提案制度）を利用する	市主催のフォーラムや懇談会等へ参加する	各種計画等の策定委員会などへ参加する	市の関係課へ直接意見を伝える	自治会活動へ参加する	各種団体を通じて市へ意見を伝える	ボランティア・NPOなどへ参加する	自主的なまちづくり勉強会などへ参加する	地域の趣味的な団体へ参加する	市民ができることであれば、公共的なことであっても仲間と行いたい	市役所でやってほしい	市役所でやるべきことは市役所でやってほしい	特に関わろうとは思わない	その他	無回答
全体 (n=1, 270)	11.6	6.4	2.3	11.3	29.1	6.7	11.7	5.3	19.5	16.4	26.3	18.0	5.4	11.4	
厚木北 (n=147)	12.2	10.9	3.4	8.2	14.3	4.1	15.6	4.8	14.3	17.7	25.2	25.9	4.8	10.2	
厚木南 (n= 94)	7.4	5.3	4.3	7.4	28.7	4.3	12.8	6.4	16.0	16.0	21.3	19.1	8.5	12.8	
依知北 (n= 89)	12.4	4.5	1.1	9.0	22.5	14.6	11.2	3.4	18.0	19.1	30.3	22.5	5.6	14.6	
依知南 (n= 51)	11.8	3.9	2.0	11.8	33.3	7.8	5.9	5.9	21.6	25.5	33.3	13.7	5.9	13.7	
睦合北 (n= 58)	17.2	8.6	3.4	17.2	27.6	3.4	13.8	10.3	29.3	20.7	34.5	8.6	6.9	12.1	
睦合南 (n= 95)	12.6	4.2	0.0	8.4	31.6	8.4	6.3	6.3	20.0	11.6	25.3	22.1	7.4	9.5	
睦合西 (n= 59)	8.5	8.5	1.7	18.6	27.1	11.9	6.8	3.4	20.3	13.6	33.9	15.3	1.7	13.6	
荻野 (n=177)	11.9	3.4	1.7	16.4	29.9	6.8	11.3	7.9	18.6	19.8	25.4	15.3	4.5	11.9	
小 鮎 (n= 78)	10.3	6.4	2.6	7.7	43.6	3.8	12.8	2.6	24.4	9.0	23.1	15.4	1.3	9.0	
南毛利 (n=195)	13.8	7.2	2.6	12.8	28.2	7.2	9.2	3.6	18.5	14.4	26.7	19.5	5.1	9.7	
南毛利南 (n=50)	10.0	2.0	0.0	6.0	32.0	4.0	20.0	2.0	16.0	22.0	24.0	12.0	4.0	16.0	
玉 川 (n= 25)	12.0	4.0	0.0	8.0	44.0	0.0	4.0	0.0	12.0	28.0	28.0	24.0	4.0	8.0	
相 川 (n= 62)	9.7	6.5	1.6	8.1	22.6	4.8	12.9	3.2	25.8	9.7	25.8	17.7	11.3	16.1	
緑ヶ丘 (n= 22)	4.5	0.0	0.0	9.1	45.5	4.5	22.7	4.5	22.7	13.6	31.8	13.6	9.1	4.5	
森の里 (n= 48)	12.5	10.4	4.2	12.5	43.8	10.4	12.5	8.3	22.9	12.5	20.8	10.4	4.2	8.3	

（４）本厚木駅周辺の活性化（Ａ：問 33）

問．本厚木駅周辺を活性化するためにの特に必要だと思うことは何ですか。（２つまで）

図 14－４－１ 本厚木駅周辺の活性化

n=1,270



【全体】

本厚木駅周辺の活性化に必要なことについて聞いたところ、「新たな商業施設の誘致」（41.7％）が最も高く、「商店街の充実」（40.2％）も4割を超えている。次いで、「安心安全な環境づくり」（35.0％）となっている。

【経年変化】

新規設問のため、経年変化は掲載していない。

【属性別】

性別で見ると、男性では「新たな商業施設の誘致」（46.4％）が女性より 8.6 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30～49 歳で「新たな商業施設の誘致」が高くなっている。20～39 歳では「子育て支援、教育環境の充実」や「イベントの充実」が全体よりも高い結果となっている。

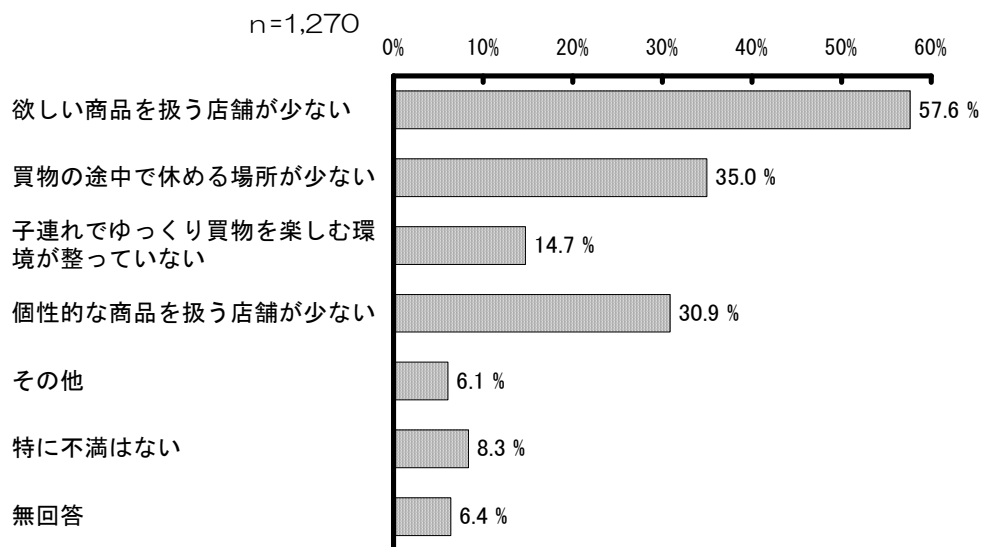
表 14-4-1 本厚木駅周辺の活性化－性別、年齢別

(単位：％)	新たな商業施設の誘致	子育て支援、 教育環境の充実	文化芸術に 親しむことができる 環境の整備	商店街の充実	駐車場、 駐輪場の充実	安心安全な環境づくり	イベントの充実	無回答
全体 (n=1,270)	41.7	8.0	15.0	40.2	24.3	35.0	8.6	5.8
男性 (n=556)	46.4	5.6	12.8	38.7	24.1	34.9	9.4	4.7
女性 (n=685)	37.8	10.4	16.8	41.0	23.9	35.2	8.3	7.0
20 歳未満 (n=15)	26.7	6.7	20.0	33.3	26.7	40.0	20.0	0.0
20～29 歳 (n=100)	40.0	14.0	16.0	39.0	20.0	32.0	16.0	1.0
30～39 歳 (n=185)	54.6	15.1	8.1	32.4	16.8	34.6	17.8	1.6
40～49 歳 (n=191)	49.7	11.0	16.2	34.6	26.7	35.6	8.9	1.6
50～59 歳 (n=186)	40.9	7.5	17.2	38.2	24.7	38.7	7.5	3.2
60～69 歳 (n=310)	40.6	3.5	17.4	43.9	24.8	34.5	4.5	8.4
70～79 歳 (n=190)	29.5	4.7	13.2	47.4	29.5	35.3	4.7	11.1
80 歳以上 (n=76)	32.9	5.3	15.8	46.1	22.4	28.9	3.9	18.4

（５）本厚木駅周辺の買物で不満を感じること（Ａ：問 34）

問．本厚木駅周辺の買物の際に感じることはありますか。（２つまで）

図 14－５－１ 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること



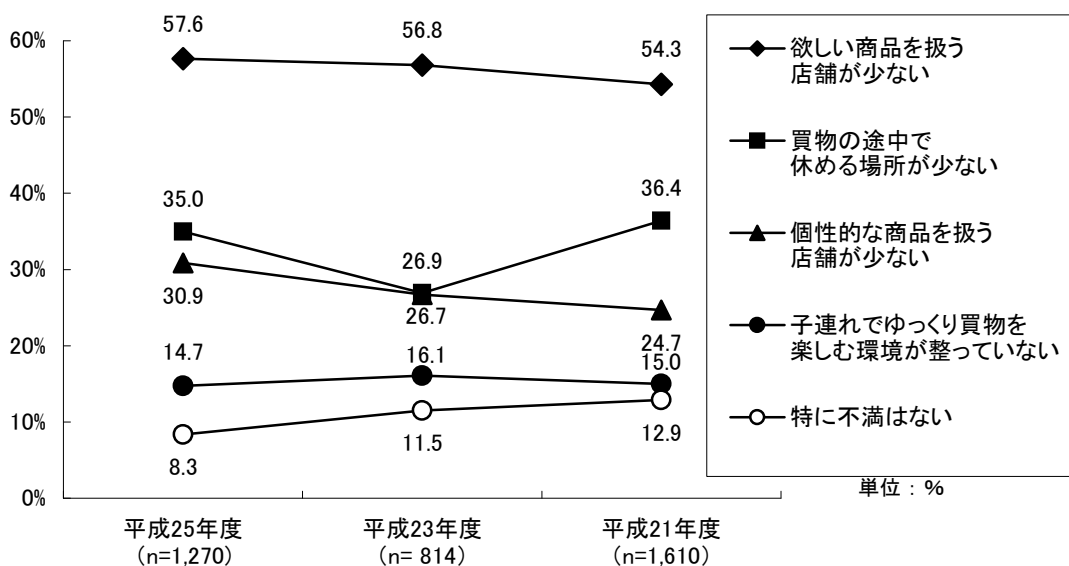
【全体】

本厚木駅周辺の買物で不満を感じることにについて聞いたところ、「欲しい商品を扱う店舗が少ない」（57.6%）が6割近くで最も高くなっている。次いで、「買物の途中で休める場所が少ない」（35.0%）、「個性的な商品を扱う店舗が少ない」（30.9%）が3割を超えて高くなっている。

【経年変化】

経年による変化では、「個性的な商品を扱う店舗が少ない」が、平成21年度調査と今回の調査と比べて6.2ポイントの増加となっている。

図 14－５－２ 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること－経年変化



【属性別】

性別で見ると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

年齢別に見ると、70 歳以上で「買物の途中で休める場所が少ない」については5割に近く、30～49 歳で「子連れでゆっくり買物を楽しむ環境が整っていない」が2割を超えて、それぞれ全体より高くなっている。

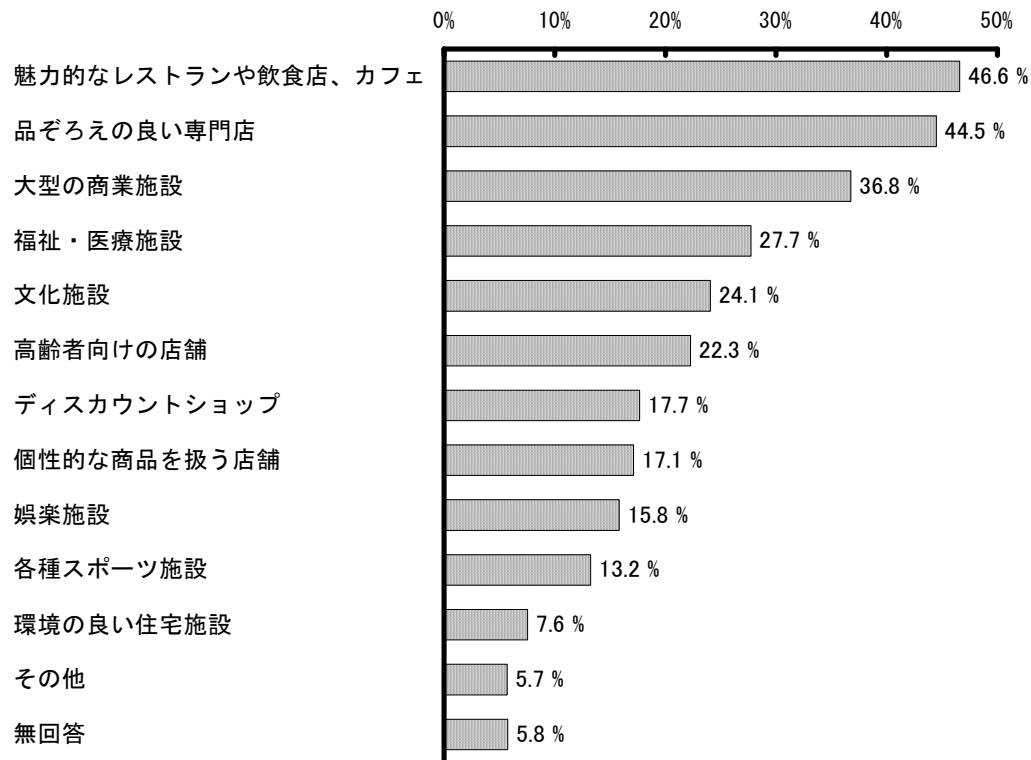
表 14－5－1 本厚木駅周辺の買物で不満を感じること－性別、年齢別

(単位：％)	欲しい商品が扱 店舗が少ない	買物の途中で 休める場所が少 ない	子連れでゆっく り買物を楽しむ 環境が整って いない	個性的な商品 が扱店舗が少 ない	その他	特に不満は ない	無 回 答
全体 (n=1,270)	57.6	35.0	14.7	30.9	6.1	8.3	6.4
男性 (n=556)	56.5	32.7	14.0	31.8	6.7	8.8	7.0
女性 (n=685)	58.7	36.8	15.0	29.5	5.7	8.0	6.1
20 歳未満 (n= 15)	60.0	26.7	6.7	46.7	6.7	6.7	6.7
20～29 歳 (n=100)	62.0	30.0	19.0	23.0	10.0	16.0	0.0
30～39 歳 (n=185)	71.9	27.6	24.3	28.6	4.9	8.6	0.5
40～49 歳 (n=191)	67.0	27.2	20.4	31.9	6.8	7.9	2.1
50～59 歳 (n=186)	62.9	33.3	14.0	32.8	9.7	7.5	3.8
60～69 歳 (n=310)	54.2	35.2	11.6	31.3	4.8	8.7	9.0
70～79 歳 (n=190)	43.7	48.4	6.3	33.2	4.2	5.8	12.6
80 歳以上 (n= 76)	31.6	47.4	7.9	26.3	3.9	6.6	21.1

(6) 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設（B：問 25）

問. 本厚木駅周辺に立地してほしい施設は何ですか。（いくつでも）

図 14-6-1 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設
n=1,284



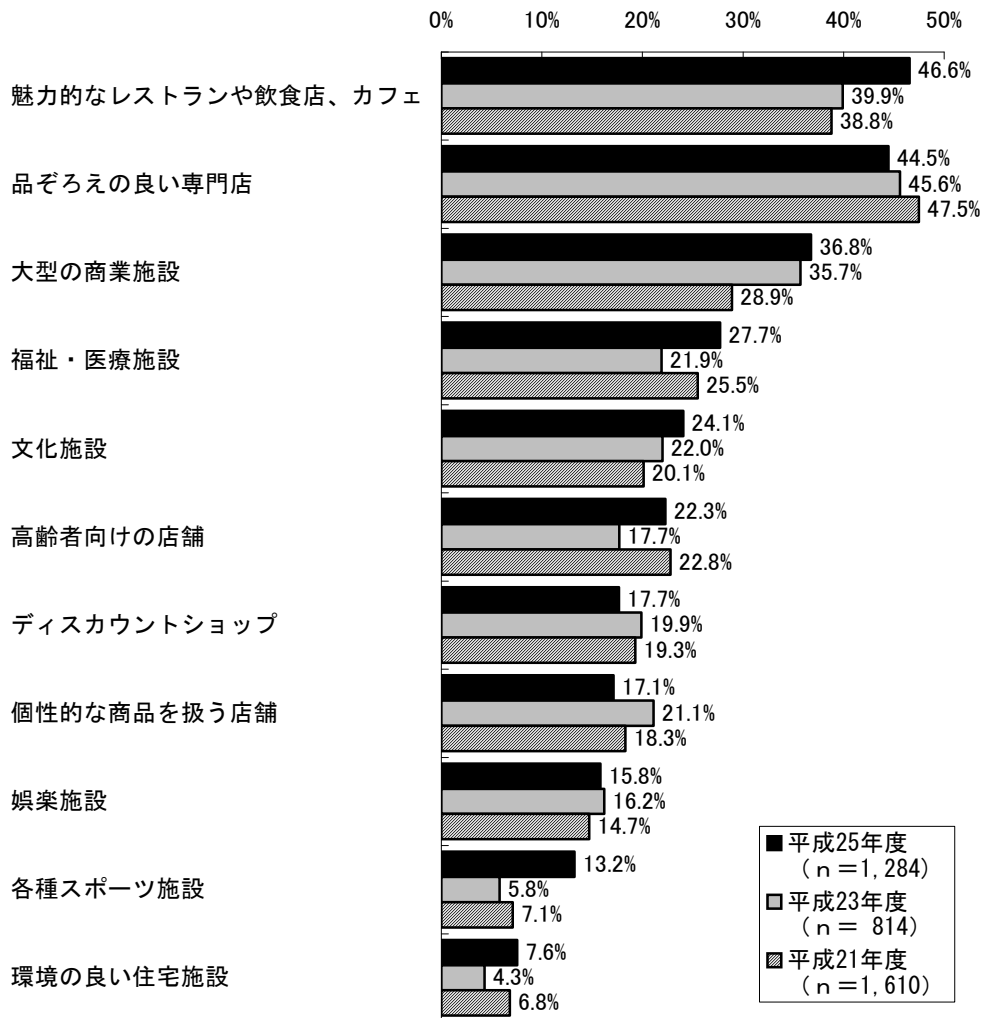
【全体】

本厚木駅周辺にあればよいと思う施設について聞いたところ、「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」（46.6%）が最も高く、「品ぞろえの良い専門店」（44.5%）とともに4割を超えている。次いで、「大型の商業施設」（36.8%）、「福祉・医療施設」（27.7%）などとなっている。

【経年変化】

経年による変化では、前回までは「品ぞろえの良い専門店」が最も高かったものの、今回の調査では「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」が最も高くなっている。次いで、「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」、「大型の商業施設」、「文化施設」の3項目については、増加傾向となっている。

図 14-6-2 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設—経年変化



【属性別】

性別に見ると、女性で「品ぞろえの良い専門店」（48.4%）が男性より8.9ポイント高くなっている。次いで、他にも「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」（49.9%）、「高齢者向けの店舗」（25.0%）、「大型の商業施設」（39.9%）で、それぞれ男性より高くなっている。

年齢別に見ると、30歳代では「文化施設」は1割台と全体より低い一方、「魅力的なレストランや飲食店、カフェ」は5割を超えて全体より高くなっている。

「福祉・医療施設」は、おおむね年齢層が上がるごとに高くなっている。また、「高齢者向けの店舗」については、60歳代（31.5%）、70歳代（42.2%）、80歳以上（64.4%）と高齢者で急激に増加している。

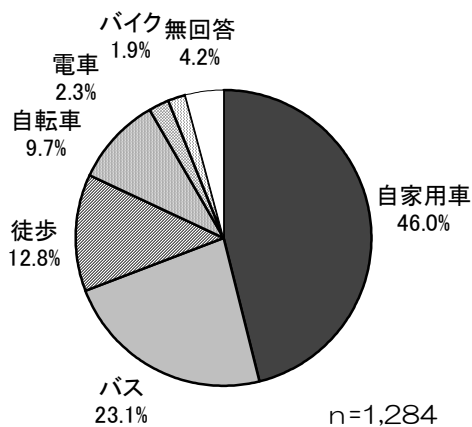
表 14-6-1 本厚木駅周辺にあればよいと思う施設－性別、年齢別

(単位：%)	品ぞろえの良い専門店	娯楽施設	文化施設	ディスカウントショップ	高齢者向けの店舗	個性的な商品を扱う店舗	魅力的なレストランや飲食店、カフェ	大型の商業施設	福祉・医療施設	各種スポーツ施設	環境の良い住宅施設	その他	無回答
全体 (n=1,284)	44.5	15.8	24.1	17.7	22.3	17.1	46.6	36.8	27.7	13.2	7.6	5.7	5.8
男性 (n=560)	39.5	16.6	23.2	16.6	18.4	18.9	43.0	33.6	25.4	14.8	6.4	6.1	7.3
女性 (n=697)	48.4	15.2	25.5	18.4	25.0	15.9	49.9	39.9	29.6	12.2	8.3	5.5	4.2
20歳未満 (n=15)	40.0	46.7	0.0	40.0	13.3	6.7	60.0	66.7	26.7	46.7	6.7	13.3	0.0
20～29歳 (n=126)	59.5	26.2	19.0	23.8	6.3	19.8	50.0	45.2	18.3	24.6	8.7	4.0	2.4
30～39歳 (n=170)	45.3	25.9	18.2	22.9	4.1	15.9	57.6	57.6	20.0	16.5	8.8	3.5	1.8
40～49歳 (n=224)	42.4	18.3	25.9	14.3	8.5	12.9	49.1	46.0	24.1	15.6	8.5	10.7	4.5
50～59歳 (n=176)	50.6	5.7	23.3	22.2	14.8	17.6	49.4	34.7	30.1	8.0	5.7	6.8	4.5
60～69歳 (n=276)	42.0	11.6	29.3	15.6	31.5	21.0	44.6	29.0	32.2	10.9	8.0	5.1	4.7
70～79歳 (n=204)	36.3	10.3	27.9	10.8	42.2	18.6	36.3	21.6	33.3	9.3	5.4	3.4	11.8
80歳以上 (n=73)	43.8	15.1	23.3	20.5	64.4	12.3	37.0	20.5	38.4	6.8	8.2	2.7	9.6

(7) 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段（B：問 26）

問. 本厚木駅周辺で買物をするとき、自宅からの交通手段は何ですか。（1つだけ）

図 14-7-1 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段



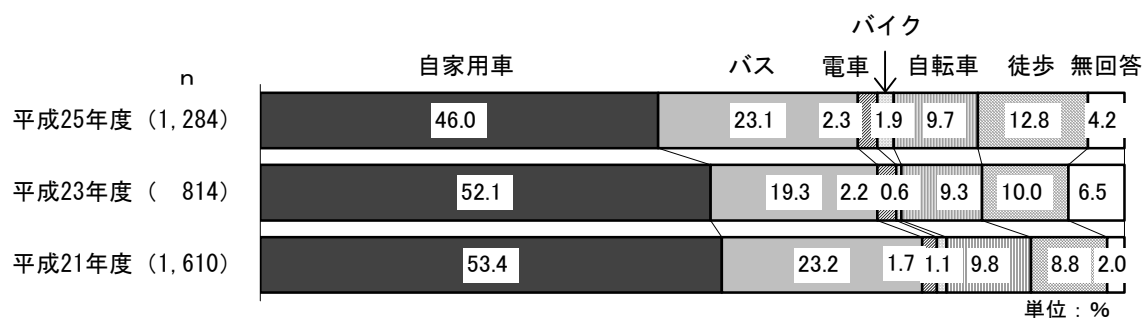
【全体】

本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段について聞いたところ、「自家用車」（46.0%）が最も高くなっている。次いで、「バス」（23.1%）、「徒歩」（12.8%）となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、「自家用車」との回答が減少傾向となっている。

図 14-7-2 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段—経年変化



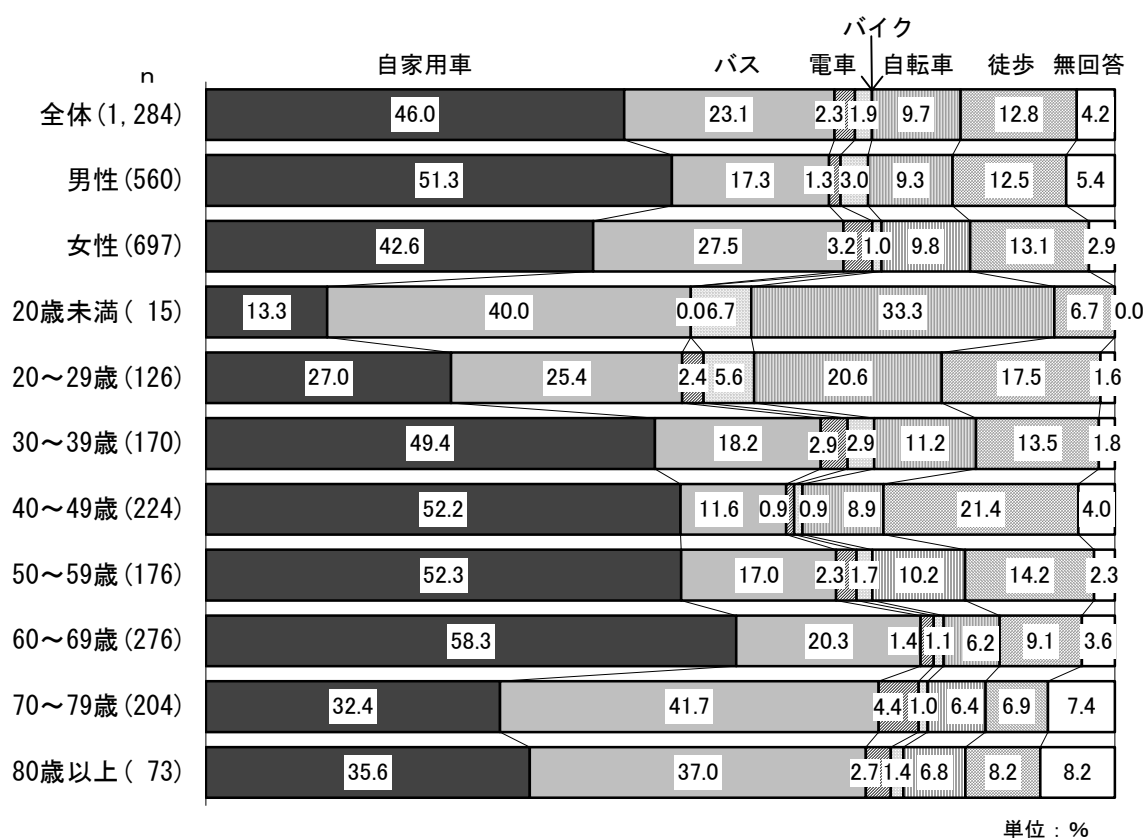
【属性別】

性別で見ると、女性では「バス」(27.5%)が男性より10.2ポイント高くなっている。一方、男性では「自家用車」(51.3%)が女性より8.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30～69歳までは年齢層が上がるごとに「自家用車」との回答が高くなる傾向となっている。

70歳以上では、自家用車との回答が3割台と低くなっている。一方、「バス」との回答が最も高くなっている。

図 14-7-3 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段—性別、年齢別



居住地区別の結果

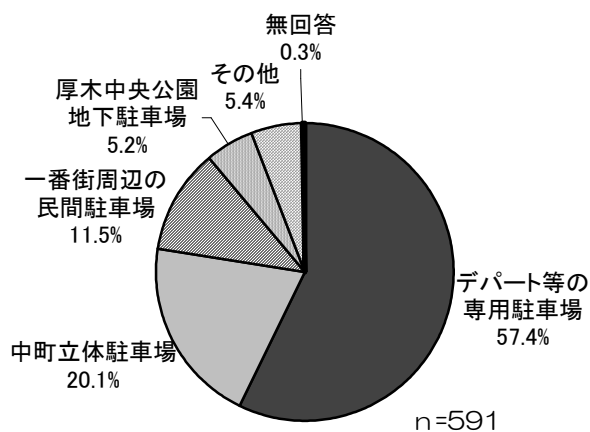
表 14-7-1 本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段－居住地区別

(単位：％)	自家用車	バス	電車	バイク	自転車	徒歩	無回答
全体 (n=1, 284)	46.0	23.1	2.3	1.9	9.7	12.8	4.2
厚木北 (n=156)	12.2	5.1	0.0	1.3	16.7	62.2	2.6
厚木南 (n= 80)	8.8	5.0	0.0	0.0	31.3	50.0	5.0
依知北 (n= 93)	65.6	28.0	0.0	4.3	1.1	0.0	1.1
依知南 (n= 54)	59.3	22.2	0.0	5.6	3.7	0.0	9.3
睦合北 (n= 47)	59.6	34.0	0.0	2.1	2.1	2.1	0.0
睦合南 (n= 98)	44.9	34.7	0.0	0.0	10.2	5.1	5.1
睦合西 (n= 57)	45.6	31.6	0.0	1.8	17.5	0.0	3.5
荻 野 (n=178)	58.4	33.7	0.0	2.2	1.7	0.0	3.9
小 鮎 (n= 75)	61.3	21.3	0.0	4.0	6.7	1.3	5.3
南毛利 (n=198)	50.0	27.3	0.5	0.0	11.6	6.6	4.0
南毛利南 (n=58)	41.4	5.2	37.9	0.0	12.1	1.7	1.7
玉 川 (n= 23)	82.6	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3
相 川 (n= 66)	51.5	12.1	9.1	4.5	10.6	6.1	6.1
緑ヶ丘 (n= 33)	30.3	51.5	0.0	0.0	9.1	3.0	6.1
森の里 (n= 46)	65.2	26.1	0.0	4.3	0.0	0.0	4.3

(8) 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場（B：問 27）

問. 自家用車とお答えの方にお聞きます。主に利用される駐車場は、どこですか（1つだけ）

図 14-8-1 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場



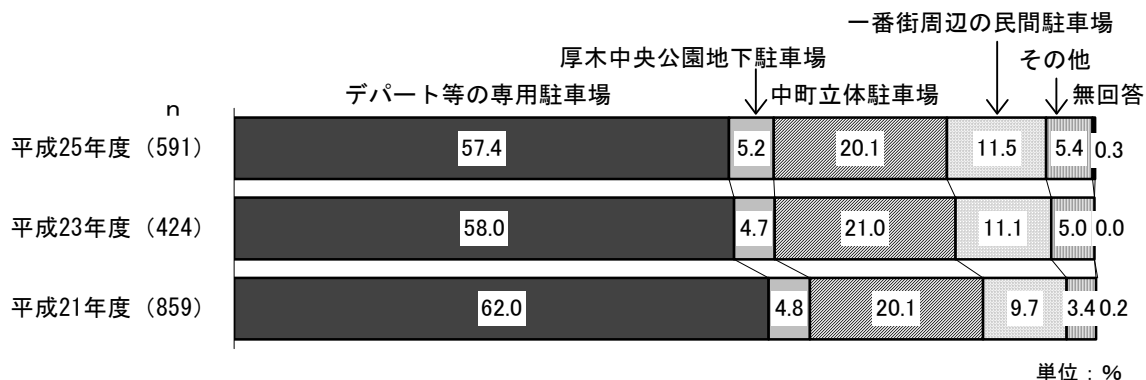
【全体】

本厚木駅周辺で買物をするときの交通手段で「自家用車」と答えた人（591 人）に主に利用する駐車場について聞いたところ、「デパート等の専用駐車場」（57.4%）が6割近くで最も高くなっている。次いで、「中町立体駐車場」（20.1%）、「一番街周辺の民間駐車場」（11.5%）となっている。

【経年変化】

経年による変化では、大きな変化は見られない。

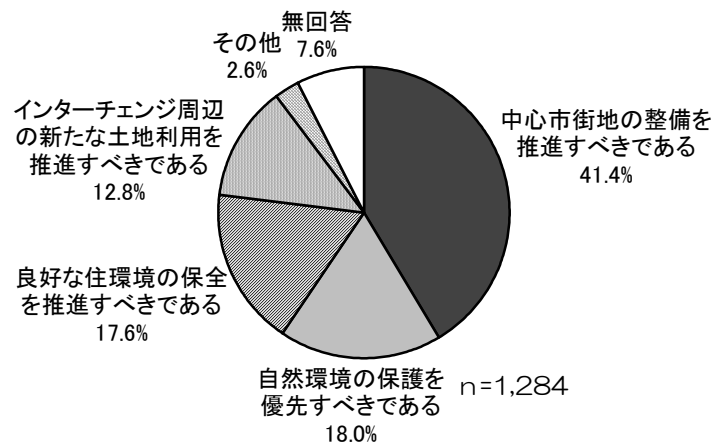
図 14-8-2 本厚木駅周辺で主に利用する駐車場—経年変化



（９）市の将来の土地利用（Ｂ：問 28）

問. 厚木市の将来的な土地利用について、最も力を入れた方が良いと思うことは何ですか。
（１つだけ）

図 14－９－１ 市の将来の土地利用



【全体】

厚木市の将来的な土地利用についてどう思うか聞いたところ、「中心市街地の整備を推進すべきである」（41.4％）が最も高くなっている。次いで、「自然環境の保護を優先すべきである」（18.0％）、「良好な住環境の保全を推進すべきである」（17.6％）となっている。

【経年変化】

選択肢が異なるため、経年変化は掲載していない。

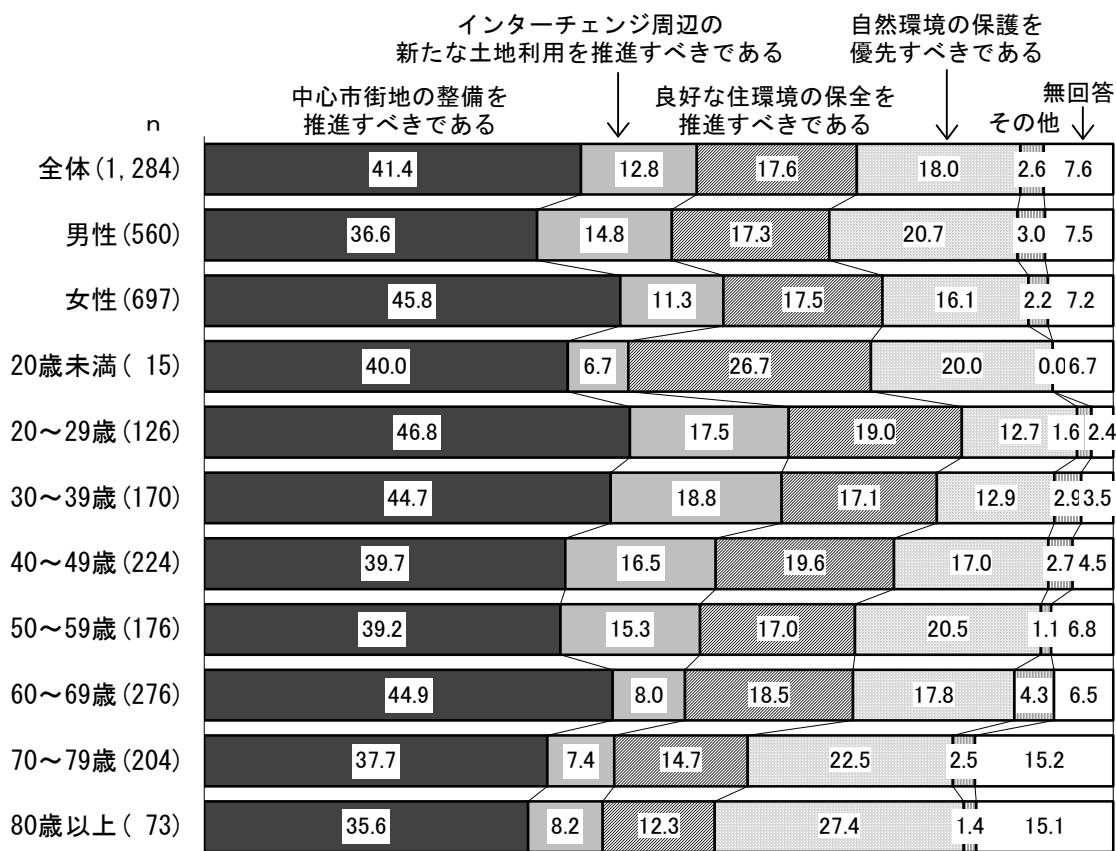
【属性別】

性別で見ると、女性では「中心市街地の整備を推進すべきである」（45.8%）が男性よりも9.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、「自然環境の保護を優先すべきである」と「良好な住環境の保全を推進すべきである」の2項目で、20～49歳では「良好な住環境の保全」との回答が「自然環境の保護」より高くなっている。50歳以上では「自然環境の保護」との回答が「良好な住環境の保全」より高い結果となっている。

また、「インターチェンジ周辺の新たな土地利用を推進すべきである」については、60歳以上では1割を下回り、他の年齢層よりも低い結果となっている。

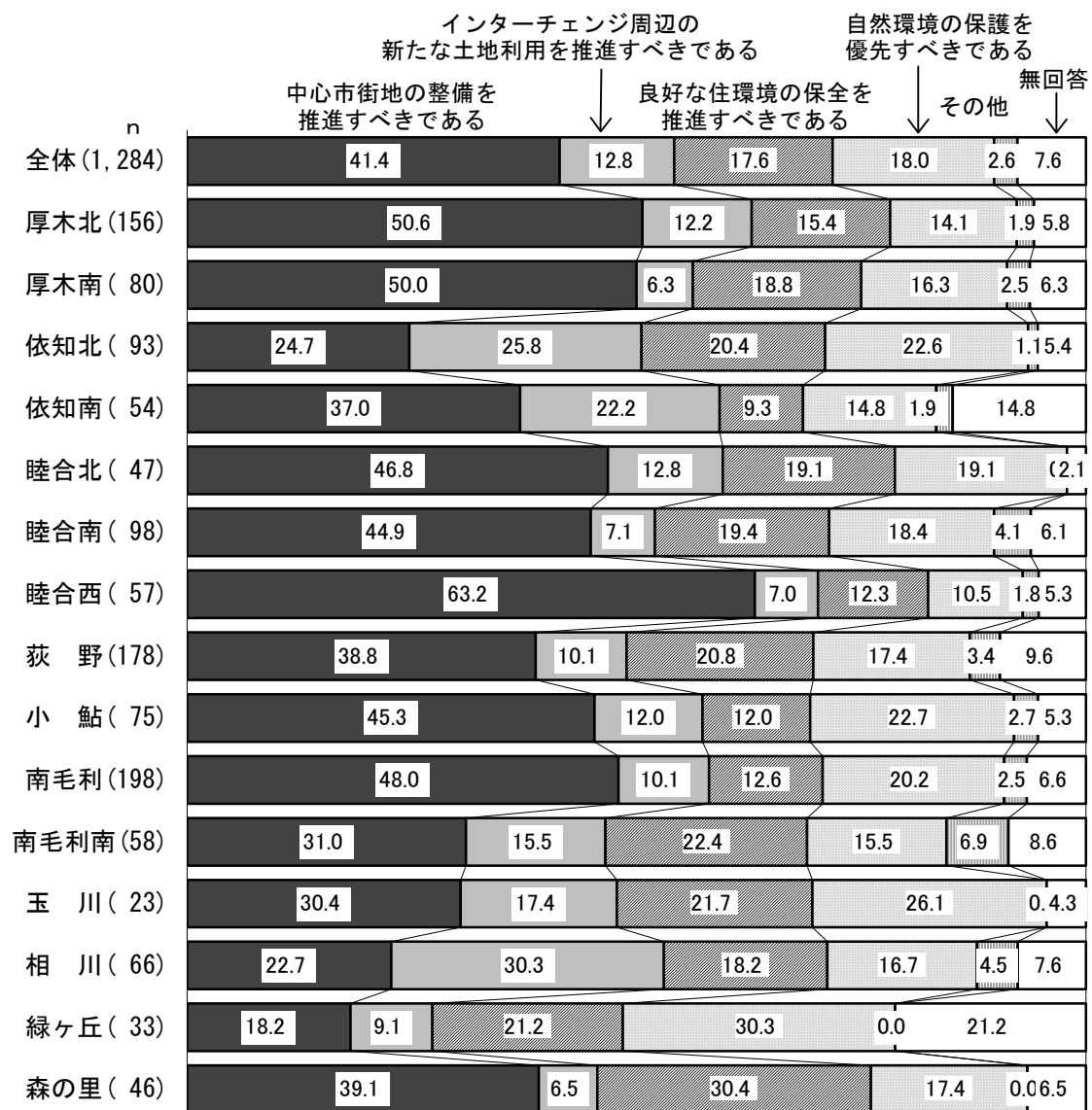
図 14-9-2 市の将来の土地利用一性別、年齢別



単位：%

居住地区別の結果

図 14-9-3 市の将来の土地利用—居住地区別



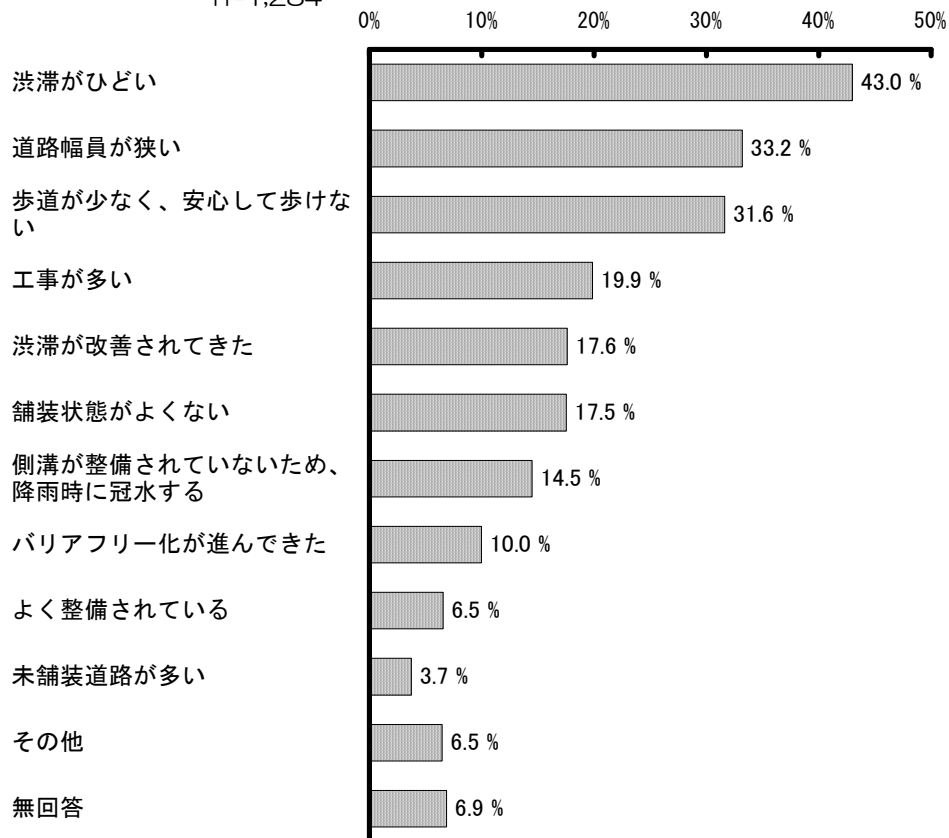
単位：%

(10) 厚木市内の道路の現状（B：問 29）

問. 厚木市内の道路の現状について、どう思いますか。（いくつでも）

図 14-10-1 厚木市内の道路の現状

n=1,284



【全体】

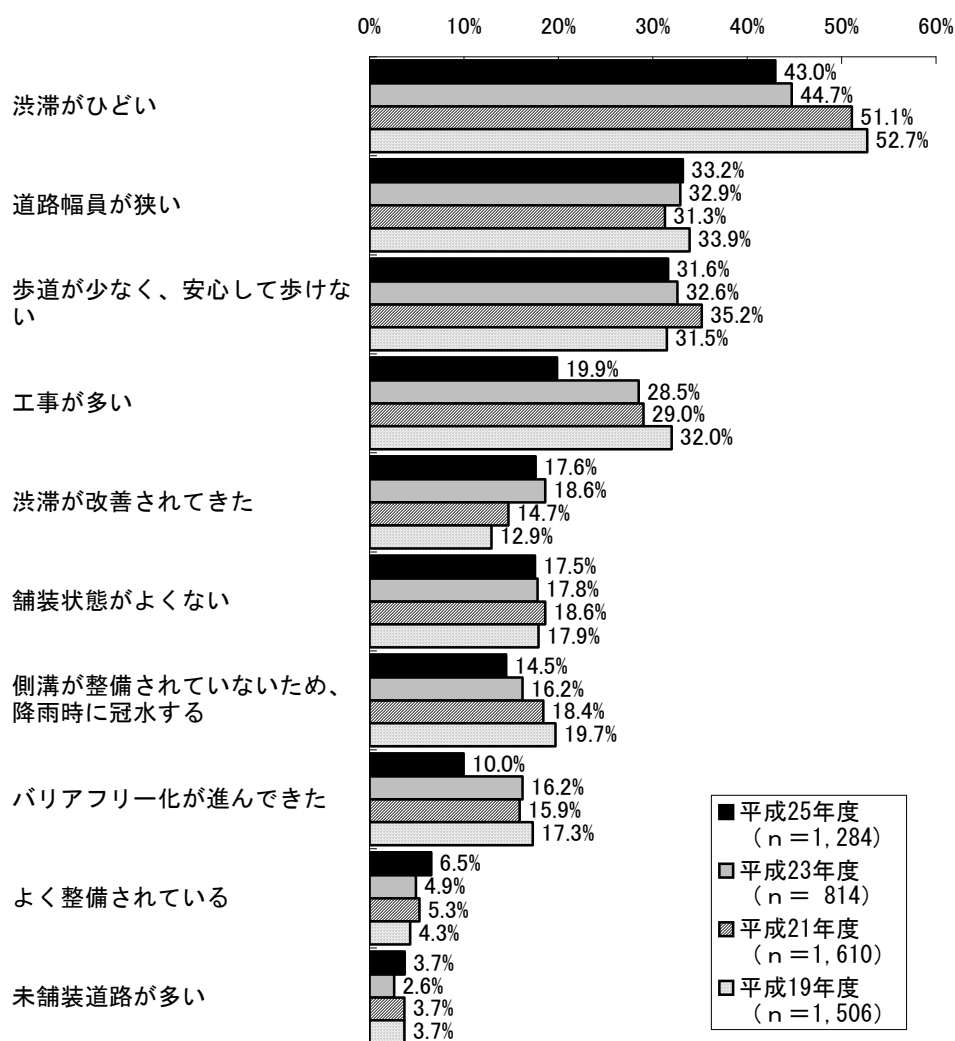
厚木市内の道路の現状について聞いたところ、「渋滞がひどい」（43.0％）が4割を超えて最も高くなっている。次いで、「道路幅員が狭い」（33.2％）、「歩道が少なく、安心して歩けない」（31.6％）が3割を超えて高くなっている。

【経年変化】

直近4回の調査では「渋滞がひどい」との回答が連続して最も高く、いずれも唯一4割を超えているが、減少傾向となっている。

次いで、「道路幅員が狭い」、「歩道が少なく、安心して歩けない」、「工事が多い」との3項目がこれまで3割前後の回答として続いていたが、今回調査では「工事が多い」との回答が19.9%と減少している。

図 14-10-2 厚木市内の道路の現状－経年変化



【属性別】

性別で見ると、男性で「渋滞がひどい」（46.8%）が女性より 6.2 ポイント高く、「渋滞が改善されてきた」も女性より 5.2 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、50 歳代で「渋滞がひどい」（50.6%）、「歩道が少なく、安心して歩けない」（39.8%）、「道路幅員が狭い」（38.6%）の 3 項目が全体よりも高くなっている。また、20 歳代では「工事が多い」（37.3%）、40 歳代では「側溝が整備されていないため、降雨時に冠水する」（20.1%）、60 歳代では「渋滞が改善されてきた」（23.9%）が全体よりも高くなっている。

表 14-10-1 厚木市内の道路の現状－性別、年齢別

(単位：%)	渋滞がひどい	渋滞が改善されてきた	バリアフリー化が進んできた	よく整備されている	道路幅員が狭い	工事が多い	歩道が少なく、安心して歩けない	未舗装道路が多い	舗装状態がよくない	側溝が整備されていないため、降雨時に冠水する	その他	無回答
全体 (n=1,284)	43.0	17.6	10.0	6.5	33.2	19.9	31.6	3.7	17.5	14.5	6.5	6.9
男性 (n=560)	46.8	20.4	10.5	7.0	35.2	17.7	30.7	2.0	18.2	13.2	7.1	7.3
女性 (n=697)	40.6	15.2	9.5	6.3	32.1	21.8	32.6	5.3	17.5	16.1	6.0	5.9
20 歳未満 (n= 15)	53.3	20.0	13.3	0.0	46.7	20.0	20.0	0.0	6.7	0.0	20.0	6.7
20～29 歳 (n=126)	45.2	10.3	7.9	7.1	29.4	37.3	31.0	5.6	17.5	12.7	8.7	5.6
30～39 歳 (n=170)	48.8	15.3	4.7	8.8	30.6	20.0	27.6	4.7	16.5	14.7	4.1	4.1
40～49 歳 (n=224)	43.3	12.5	8.0	8.9	28.6	17.4	33.9	2.2	20.1	20.1	8.9	5.8
50～59 歳 (n=176)	50.6	18.2	9.1	5.1	38.6	19.9	39.8	4.0	16.5	15.9	4.5	5.1
60～69 歳 (n=276)	42.4	23.9	12.3	6.5	34.8	14.1	27.5	2.2	17.8	12.7	9.1	5.4
70～79 歳 (n=204)	33.3	22.1	14.2	3.9	36.3	19.1	33.3	4.4	19.1	14.2	2.9	10.8
80 歳以上 (n= 73)	41.1	12.3	13.7	5.5	37.0	23.3	28.8	8.2	15.1	11.0	2.7	12.3

居住地区別の結果

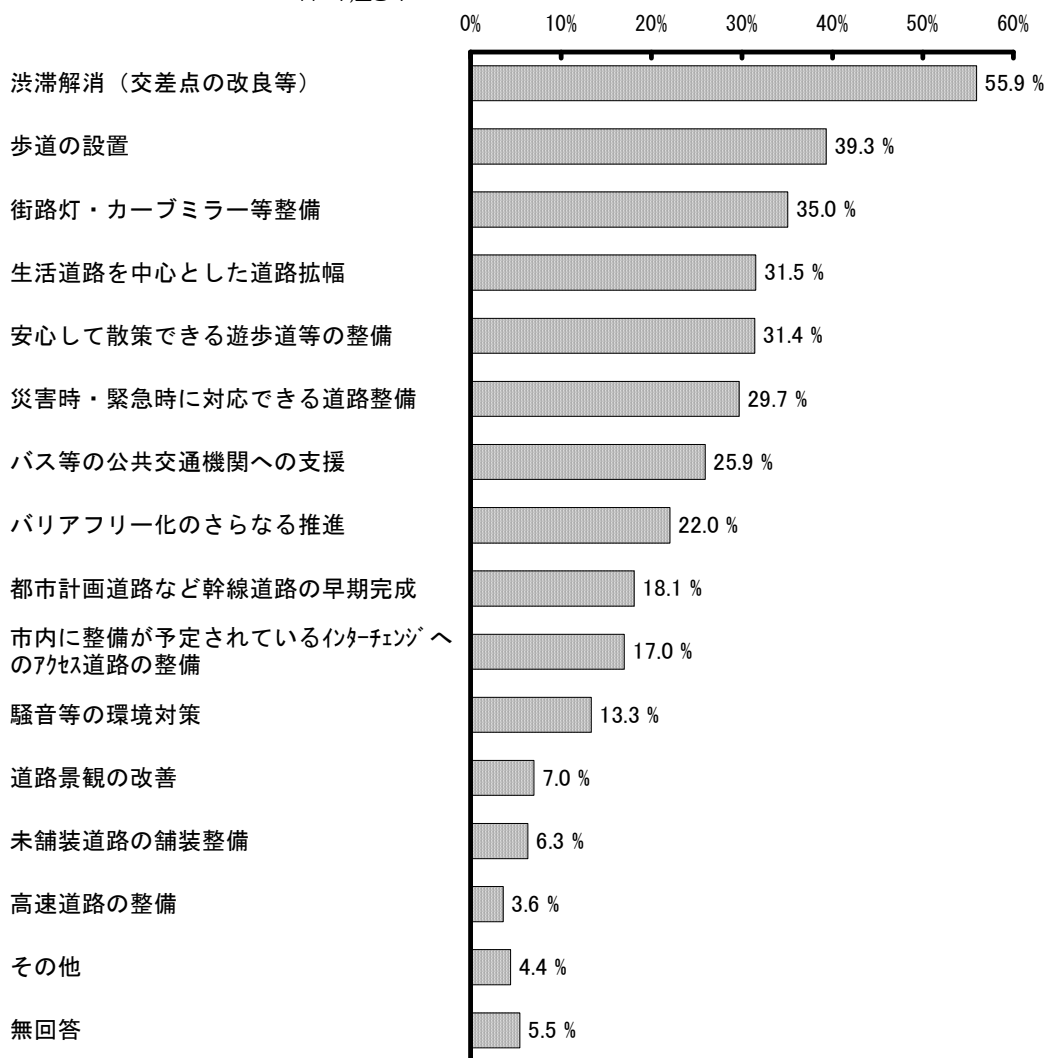
表 14-10-2 厚木市内の道路の現状－居住地区別

(単位：％)	渋滞がひどい	渋滞が改善されてきた	バリアフリー化が進んできた	よく整備されている	道路幅員が狭い	工事が多い	歩道が少なく、 安心して歩けない	未舗装道路が多い	舗装状態がよくない	側溝が整備されていないため、 降雨時に冠水する	その他	無回答
全体 (n=1, 284)	43.0	17.6	10.0	6.5	33.2	19.9	31.6	3.7	17.5	14.5	6.5	6.9
厚木北 (n=156)	33.3	12.2	12.8	14.1	21.2	17.3	27.6	3.2	17.9	19.9	6.4	6.4
厚木南 (n= 80)	33.8	13.8	8.8	3.8	25.0	21.3	25.0	5.0	16.3	15.0	7.5	11.3
依知北 (n= 93)	44.1	22.6	6.5	4.3	47.3	20.4	30.1	5.4	19.4	16.1	4.3	3.2
依知南 (n= 54)	42.6	25.9	9.3	5.6	51.9	16.7	46.3	5.6	27.8	11.1	5.6	9.3
睦合北 (n= 47)	48.9	29.8	12.8	4.3	40.4	27.7	34.0	4.3	19.1	19.1	4.3	0.0
睦合南 (n= 98)	42.9	23.5	9.2	5.1	31.6	12.2	35.7	1.0	22.4	7.1	8.2	6.1
睦合西 (n= 57)	45.6	17.5	10.5	3.5	38.6	14.0	42.1	0.0	10.5	8.8	5.3	7.0
荻 野 (n=178)	51.7	23.6	11.2	4.5	32.6	21.9	30.9	2.8	14.6	10.7	6.2	5.6
小 鮎 (n= 75)	40.0	17.3	9.3	6.7	40.0	28.0	32.0	8.0	16.0	12.0	5.3	5.3
南毛利 (n=198)	54.0	12.1	9.1	5.1	37.4	25.3	37.4	4.0	17.7	20.2	8.6	6.1
南毛利南 (n=58)	31.0	15.5	12.1	10.3	19.0	13.8	20.7	6.9	22.4	10.3	13.8	8.6
玉 川 (n= 23)	43.5	13.0	0.0	4.3	43.5	17.4	26.1	4.3	13.0	8.7	8.7	4.3
相 川 (n= 66)	42.4	12.1	13.6	10.6	27.3	16.7	30.3	3.0	18.2	18.2	4.5	7.6
緑ヶ丘 (n= 33)	39.4	6.1	12.1	6.1	30.3	9.1	21.2	3.0	9.1	15.2	0.0	15.2
森の里 (n= 46)	30.4	17.4	6.5	8.7	32.6	17.4	23.9	0.0	15.2	15.2	4.3	8.7

(11) 道路整備に望むもの（B：問 30）

問. 厚木市内の道路整備に何を望みますか。（いくつでも）

図 14-11-1 道路整備に望むもの
n=1,284



【全体】

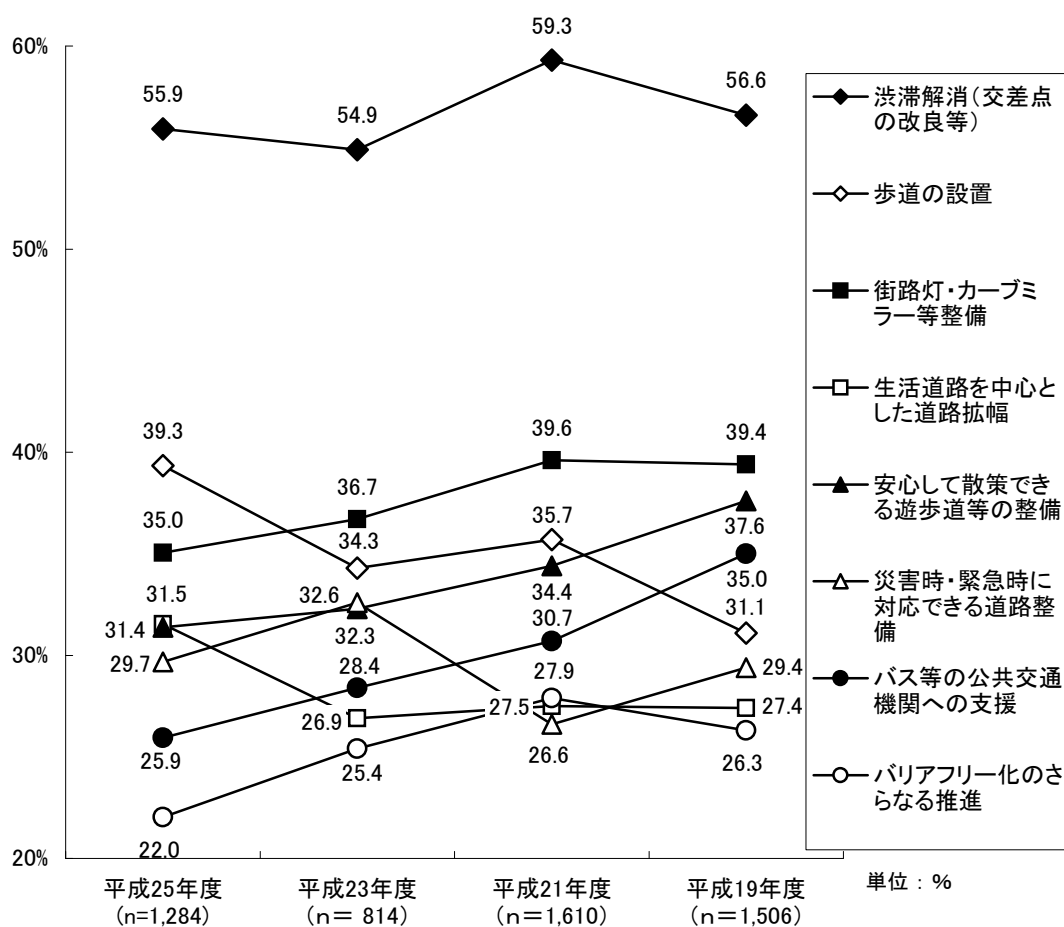
厚木市内の道路整備に何を望むか聞いたところ、「渋滞解消（交差点の改良等）」（55.9%）が半数を超えて最も高くなっている。次いで、「歩道の設置」（39.3%）、「街路灯・カーブミラー等整備」（35.0%）、「生活道路を中心とした道路拡幅」（31.5%）、「安心して散策できる遊歩道等の整備」（31.4%）、「災害時・緊急時に対応できる道路整備」（29.7%）となっている。

【経年変化】

直近4回の調査では、上位8項目に同じ項目が選ばれている。これらの項目に注目して経年による変化を見ると、「渋滞解消（交差点の改良等）」は半数を超えて最も高くなっている。2位から8位は調査ごとに順位に変動が見られるが、「街路灯・カーブミラー等整備」、「安心して散策できる遊歩道等の整備」、「バス等の公共交通機関への支援」、「バリアフリー化のさらなる推進」の4項目は、おおむね減少傾向にある。

一方で、「歩道の設置」については、近年意向が高まってきている傾向にあり、平成19年度調査と比べて、今回の調査結果（39.3%）は、8.2ポイントの増加となっている。

図 14-11-2 道路整備に望むもの一経年変化



【属性別】

性別で見ると、男性は「都市計画道路など幹線道路の早期完成」（25.4%）が13.1ポイント高く、「市内に整備が予定されているインターチェンジへのアクセス道路の整備」（20.9%）、「渋滞解消（交差点の改良等）」（59.1%）が、それぞれ女性より高くなっている。

一方、女性では「街路灯・カーブミラー等整備」（40.6%）が11.8ポイント男性より高くなっているほか、「災害時・緊急時に対応できる道路整備」（34.3%）、「バリアフリー化のさらなる推進」（25.4%）、「安心して散策できる遊歩道等の整備」（34.4%）がそれぞれ男性より高くなっており、性別の差が目立つ結果となっている。

年齢別で見ると、「渋滞解消（交差点の改良等）」では、70歳以上の回答が4割台で少なくなっている。「街路灯・カーブミラー等整備」では20歳代（45.2%）、40歳代（42.0%）、「安心して散策できる遊歩道等の整備」では、70歳代（40.2%）の回答がそれぞれ高くなっている。

表 14-11-1 道路整備に望むもの一性別、年齢別

(単位：%)	渋滞解消（交差点の改良等）	バリアフリー化のさらなる推進	都市計画道路など幹線道路の早期完成	生活道路を中心とした道路拡幅	歩道の設置	未舗装道路の舗装整備	安心して散策できる遊歩道等の整備	災害時・緊急時に対応できる道路整備	街路灯・カーブミラー等整備	騒音等の環境対策	高速道路の整備	バス等の公共交通機関への支援	道路景観の改善	市内に整備が予定されているインターチェンジへのアクセス道路の整備	その他	無回答
全体 (n=1,284)	55.9	22.0	18.1	31.5	39.3	6.3	31.4	29.7	35.0	13.3	3.6	25.9	7.0	17.0	4.4	5.5
男性 (n=560)	59.1	17.5	25.4	32.3	37.7	4.8	28.0	23.9	28.8	12.1	5.2	24.6	8.8	20.9	5.2	5.9
女性 (n=697)	53.4	25.4	12.3	31.4	40.6	7.7	34.4	34.3	40.6	14.2	2.3	27.4	5.3	14.3	3.9	4.7
20歳未満 (n=15)	66.7	26.7	13.3	40.0	46.7	20.0	40.0	20.0	33.3	13.3	0.0	33.3	13.3	6.7	13.3	0.0
20～29歳 (n=126)	63.5	19.0	14.3	30.2	42.1	8.7	24.6	29.4	45.2	18.3	5.6	28.6	4.8	18.3	5.6	3.2
30～39歳 (n=170)	63.5	19.4	17.6	34.7	34.7	7.6	25.3	29.4	37.6	15.3	4.1	28.2	5.9	22.4	3.5	1.8
40～49歳 (n=224)	58.9	24.6	17.0	26.8	44.6	5.8	27.7	32.6	42.0	14.3	4.5	25.4	8.5	21.0	8.0	4.9
50～59歳 (n=176)	62.5	24.4	15.3	33.5	39.2	5.1	35.2	28.4	32.4	15.3	2.8	25.6	11.9	17.0	2.8	4.0
60～69歳 (n=276)	52.9	23.2	24.3	31.9	36.6	4.3	31.9	27.5	30.1	12.0	2.2	25.7	5.1	15.2	4.3	4.3
70～79歳 (n=204)	45.1	17.6	18.6	32.4	41.2	6.4	40.2	30.4	33.3	9.8	2.9	25.5	5.9	14.7	2.0	8.8
80歳以上 (n=73)	45.2	27.4	11.0	31.5	35.6	9.6	31.5	32.9	23.3	8.2	6.8	23.3	2.7	8.2	4.1	13.7

居住地区別の結果

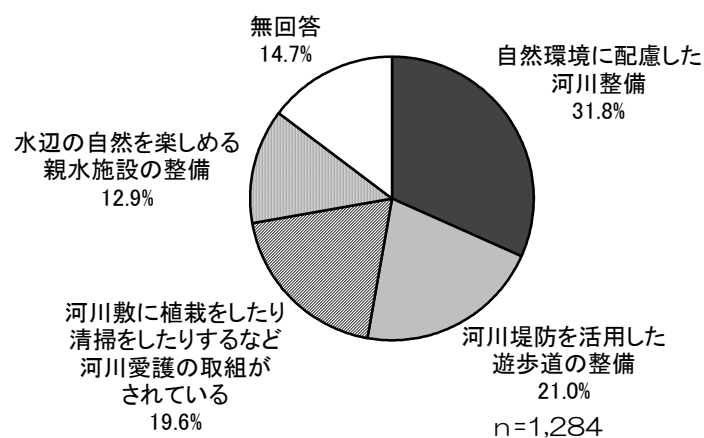
表 14-11-2 道路整備に望むもの—居住地区別

(単位：％)	渋滞解消 (交差点の改良等)	バリアフリー化のさらなる推進	都市計画道路など幹線道路の早期完成	生活道路を中心とした道路拡幅	歩道の設置	未舗装道路の舗装整備	安心して散策できる遊歩道等の整備	災害時・緊急時に対応できる道路整備	街路灯・カーブミラー等整備	騒音等の環境対策	高速道路の整備	バス等の公共交通機関への支援	道路景観の改善	市内に整備が予定されている インターチェンジへのアクセス道路の整備	その他	無回答
全体 (n=1, 284)	55.9	22.0	18.1	31.5	39.3	6.3	31.4	29.7	35.0	13.3	3.6	25.9	7.0	17.0	4.4	5.5
厚木北 (n=156)	47.4	25.0	11.5	18.6	35.3	4.5	34.6	31.4	31.4	20.5	4.5	17.3	5.8	13.5	7.1	3.8
厚木南 (n= 80)	47.5	25.0	12.5	30.0	45.0	3.8	27.5	28.8	30.0	7.5	3.8	16.3	11.3	12.5	3.8	3.8
依知北 (n= 93)	60.2	16.1	22.6	37.6	39.8	4.3	34.4	25.8	36.6	12.9	5.4	30.1	6.5	22.6	2.2	4.3
依知南 (n= 54)	55.6	24.1	18.5	51.9	38.9	11.1	37.0	24.1	40.7	13.0	5.6	22.2	5.6	14.8	3.7	9.3
睦合北 (n= 47)	61.7	25.5	21.3	44.7	38.3	8.5	27.7	34.0	40.4	8.5	2.1	23.4	6.4	25.5	0.0	0.0
睦合南 (n= 98)	54.1	22.4	19.4	28.6	42.9	8.2	29.6	24.5	32.7	20.4	2.0	20.4	6.1	11.2	4.1	6.1
睦合西 (n= 57)	61.4	26.3	21.1	29.8	49.1	3.5	33.3	31.6	35.1	10.5	3.5	22.8	7.0	19.3	10.5	8.8
荻 野 (n=178)	66.9	22.5	19.7	33.1	32.6	6.2	28.1	30.3	33.1	11.8	3.4	30.3	7.9	22.5	3.9	4.5
小 鮎 (n= 75)	52.0	22.7	29.3	40.0	40.0	12.0	37.3	32.0	46.7	12.0	4.0	30.7	6.7	21.3	2.7	5.3
南毛利 (n=198)	61.6	18.7	17.2	33.3	44.4	6.6	32.3	34.3	38.9	12.1	4.5	30.3	4.5	16.2	5.1	5.1
南毛利南 (n=58)	51.7	20.7	10.3	34.5	37.9	3.4	31.0	34.5	27.6	17.2	0.0	22.4	6.9	15.5	5.2	5.2
玉 川 (n= 23)	56.5	17.4	13.0	17.4	39.1	4.3	30.4	21.7	34.8	13.0	0.0	21.7	17.4	4.3	0.0	4.3
相 川 (n= 66)	50.0	25.8	16.7	27.3	45.5	9.1	28.8	30.3	27.3	10.6	4.5	27.3	6.1	22.7	9.1	6.1
緑ヶ丘 (n= 33)	45.5	12.1	12.1	12.1	24.2	6.1	24.2	27.3	30.3	6.1	0.0	36.4	9.1	0.0	0.0	12.1
森の里 (n= 46)	47.8	23.9	26.1	30.4	34.8	4.3	26.1	15.2	47.8	8.7	4.3	39.1	6.5	19.6	0.0	4.3

(12) 河川環境の整備状況（B：問31）

問. 河川環境の整備がされていると思うと感じることは何ですか。（1つだけ）

図 14-12-1 河川環境の整備状況



【全体】

河川環境の整備状況について聞いたところ、「自然環境に配慮した河川整備」（31.8%）が3割を超えて最も高くなっている。次いで、「河川堤防を活用した遊歩道の整備」（21.0%）、「河川敷に植栽をしたり清掃をしたりするなど河川愛護の取組がされている」（19.6%）、「水辺の自然を楽しむ親水施設の整備」（12.9%）となっている。

【経年変化】

経年による大きな変化は見られない。

図 14-12-2 河川環境の整備状況—経年変化

	自然環境に 配慮した河川整備	水辺の自然を楽しむ 親水施設の整備	河川敷に植栽をしたり清掃をしたり するなど河川愛護の取組がされている	河川堤防を活用した 遊歩道の整備	無回答
平成25年度 (n=1,284)	31.8	12.9	19.6	21.0	14.7
平成23年度 (n=814)	31.4	12.9	17.7	23.3	14.6

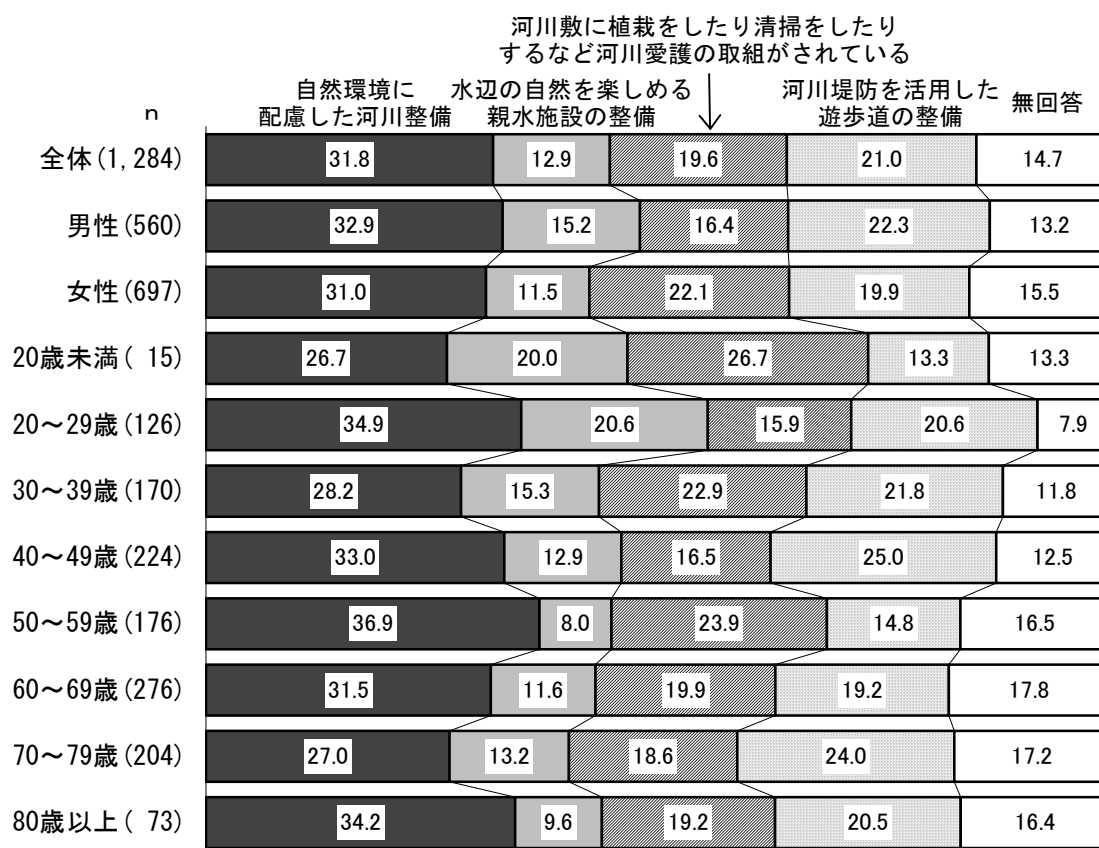
単位：%

【属性別】

性別で見ると、女性では「河川敷に植栽をしたり清掃をしたりするなど河川愛護の取組がされている」（22.1％）が、男性より 5.7 ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、50 歳代では「自然環境に配慮した河川整備」（36.9％）が全体より高くなっているのに対し、「河川堤防を活用した遊歩道の整備」（14.8％）が全体より低いという傾向となっている。

図 14-12-3 河川環境の整備状況－性別、年齢別



単位：％

居住地区別の結果

図 14-12-4 河川環境の整備状況－居住地区別

